



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(令和6年9月調査分)

《景気の現状判断DI》

	令和6年6月	令和6年9月	前回調査との差
茨城県	46.4	45.9	△0.5
県北地域	44.9	45.3	+0.4
県央地域	45.4	42.3	△3.1
鹿行地域	51.1	49.0	△2.1
県南地域	47.4	43.6	△3.8
県西地域	43.1	49.0	+5.9

《景気の先行き判断DI》

	令和6年6月	令和6年9月	前回調査との差
茨城県	48.0	48.7	+0.7
県北地域	45.9	49.0	+3.1
県央地域	48.0	49.0	+1.0
鹿行地域	46.2	49.0	+2.8
県南地域	49.0	45.2	△3.8
県西地域	51.1	51.0	△0.1

令和6年(2024年)10月25日公表

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	（１）景気の現状判断DI	3
	（２）景気の先行き判断DI	4
2	地域別の動向	5
	（１）景気の現状判断DI	5
	（２）景気の先行き判断DI	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	22
3	その他の意見	33

【問合せ先】

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

【公式サイトのURL】

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに50名、計250名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	30	30	30	30	30	150
企業関連	農林水産業、製造業、建設業、金融業等	16	16	16	16	16	80
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	4	4	4	4	20
計		50	50	50	50	50	250

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	250 人	243 人	97.2%
県北地域	50 人	48 人	96.0%
県央地域	50 人	49 人	98.0%
鹿行地域	50 人	50 人	100.0%
県南地域	50 人	47 人	94.0%
県西地域	50 人	49 人	98.0%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和6年9月調査の調査期間は、令和6年9月5日から20日までである。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性（景気が上向きか下向きか）をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階として
いるが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気の方
角性をみるための指標(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$(1 \text{ 点} \times 15.0\%) + (0.75 \text{ 点} \times 27.0\%) + (0.5 \text{ 点} \times 25.0\%) + (0.25 \text{ 点} \times 11.0\%) + (0 \text{ 点} \times 22.0\%) = 50.5$ となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50(=0.5点×100%)となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは45.9となった。令和6年6月調査（以下「前回調査」という。）より0.5ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

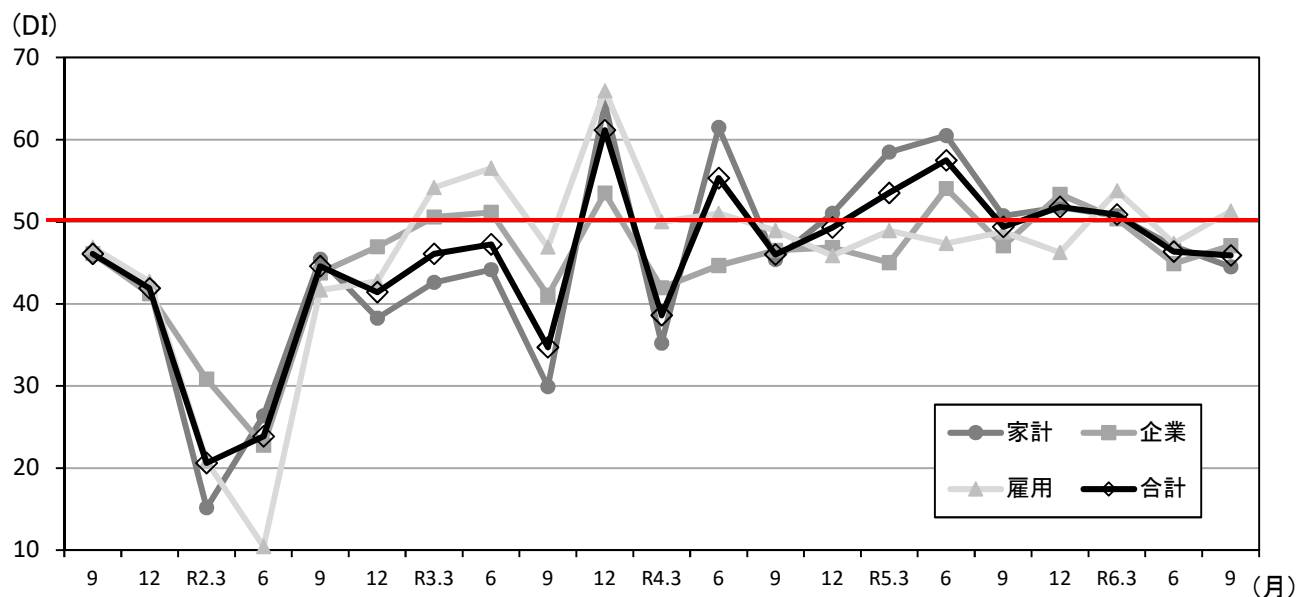
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計		49.4	51.8	50.9	46.4	45.9
家計動向関連		50.7	51.8	50.7	47.0	44.5
小売関連		47.4	43.9	48.6	43.3	37.5
飲食関連		56.9	64.1	54.4	47.2	46.9
サービス関連		50.8	55.4	49.1	47.9	48.4
住宅関連		59.4	55.6	68.8	63.9	58.3
企業動向関連		47.0	53.3	50.3	44.9	47.1
農林水産業		40.6	50.0	53.6	56.3	42.9
製造業		45.5	53.8	45.0	37.5	43.8
非製造業		50.9	53.7	57.1	51.7	52.5
雇用関連		48.8	46.3	53.8	47.4	51.3

表1-2 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和5年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	2.5%	5.1%	2.6%	3.8%	1.6%
やや良くなっている	25.2%	23.6%	26.3%	17.5%	17.3%
変わらない	44.5%	48.9%	46.1%	45.0%	49.0%
やや悪くなっている	22.7%	18.1%	22.0%	27.9%	27.2%
悪くなっている	5.0%	4.2%	3.0%	5.8%	4.9%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは48.7となった。前回調査より0.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表1-3 景気の先行き判断DI

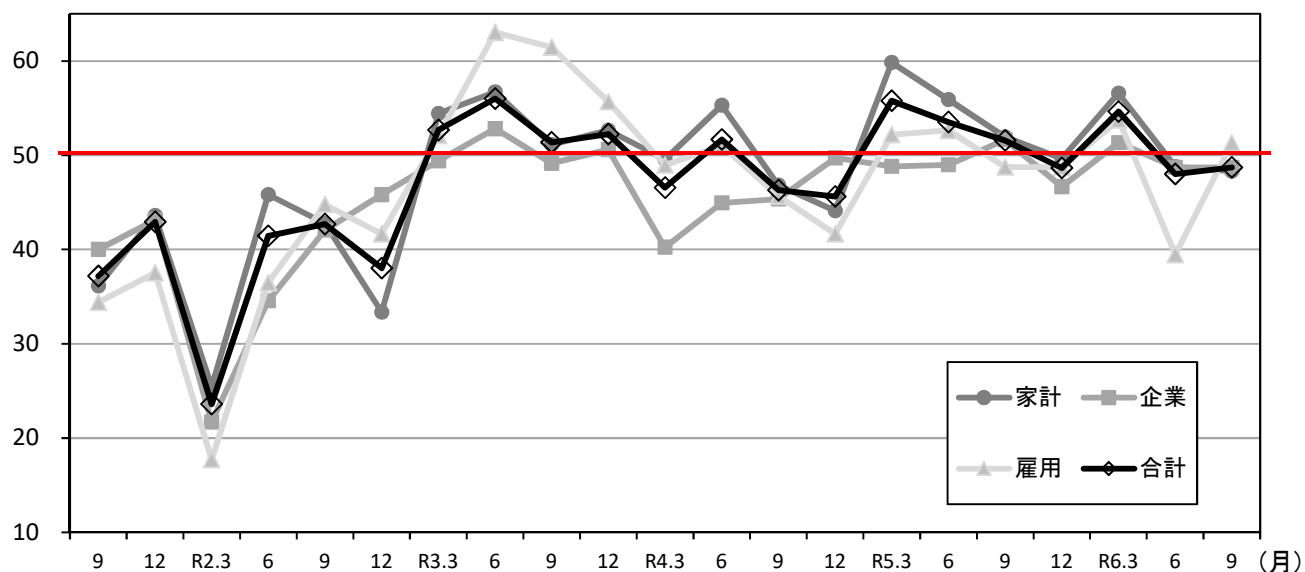
分野	調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計		51.6	48.6	54.6	48.0	48.7
家計動向関連		51.9	49.6	56.6	48.8	48.3
小売関連		45.6	46.1	51.8	43.8	44.8
飲食関連		61.1	60.9	63.2	55.6	51.6
サービス関連		54.2	47.9	58.3	52.9	49.6
住宅関連		59.4	63.9	62.5	38.9	55.6
企業動向関連		51.6	46.7	51.3	48.7	48.7
農林水産業		53.1	50.0	50.0	56.3	46.4
製造業		53.2	43.1	49.4	49.4	46.9
非製造業		49.1	50.9	54.5	45.8	51.7
雇用関連		48.8	48.8	53.8	39.5	51.3

表1-4 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	2.9%	2.5%	2.6%	1.7%	0.8%
やや良くなっている	24.8%	17.3%	29.7%	19.2%	22.6%
変わらない	51.3%	56.1%	52.2%	52.9%	50.6%
やや悪くなっている	17.6%	20.3%	14.7%	22.1%	22.2%
悪くなっている	3.4%	3.8%	0.9%	4.2%	3.7%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移

(DI)



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは45.3となった。前回調査より0.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計		48.9	51.6	47.8	44.9	45.3
家計動向関連		54.5	52.7	48.1	48.3	44.8
企業動向関連		38.3	51.7	43.3	40.6	46.7
雇用関連		50.0	43.8	62.5	37.5	43.8

表2-2 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	0.0%	2.1%	0.0%	4.1%	2.1%
やや良くなっている	34.0%	29.8%	26.1%	18.4%	16.7%
変わらない	31.9%	42.6%	39.1%	34.7%	43.8%
やや悪くなっている	29.8%	23.4%	34.8%	38.8%	35.4%
悪くなっている	4.3%	2.1%	0.0%	4.1%	2.1%

② 県央地域

景気の現状判断DIは42.3となった。前回調査より3.1ポイント低下して、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計		54.2	54.0	47.9	45.4	42.3
家計動向関連		56.0	55.0	49.1	44.0	44.2
企業動向関連		51.7	56.3	43.8	46.9	38.3
雇用関連		50.0	37.5	56.3	50.0	43.8

表2-4 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	4.2%	8.0%	6.3%	2.0%	0.0%
やや良くなっている	27.1%	26.0%	16.7%	16.3%	10.2%
変わらない	52.1%	42.0%	45.8%	51.0%	53.1%
やや悪くなっている	14.6%	22.0%	25.0%	22.4%	32.7%
悪くなっている	2.1%	2.0%	6.3%	8.2%	4.1%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは49.0となった。前回調査より2.1ポイント低下して、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計		43.6	48.4	52.2	51.1	49.0
家計動向関連		39.7	44.6	49.1	50.0	44.2
企業動向関連		50.0	53.6	57.1	51.6	56.3
雇用関連		50.0	56.3	56.3	58.3	56.3

表2-6 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	2.1%	2.2%	2.2%	4.3%	0.0%
やや良くなっている	21.3%	19.6%	28.9%	23.9%	22.0%
変わらない	38.3%	54.3%	48.9%	45.7%	56.0%
やや悪くなっている	25.5%	17.4%	15.6%	23.9%	18.0%
悪くなっている	12.8%	6.5%	4.4%	2.2%	4.0%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは43.6となった。前回調査より3.8ポイント低下して、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計		51.1	47.8	48.3	47.4	43.6
家計動向関連		52.8	48.1	48.1	49.2	40.2
企業動向関連		51.6	48.2	50.0	45.0	46.7
雇用関連		37.5	43.8	43.8	43.8	56.3

表2-8 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	4.3%	4.4%	2.2%	6.1%	4.3%
やや良くなっている	23.4%	17.8%	17.8%	10.2%	14.9%
変わらない	48.9%	51.1%	53.3%	55.1%	42.6%
やや悪くなっている	19.1%	17.8%	24.4%	24.5%	27.7%
悪くなっている	4.3%	8.9%	2.2%	4.1%	10.6%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは49.0となった。前回調査より5.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

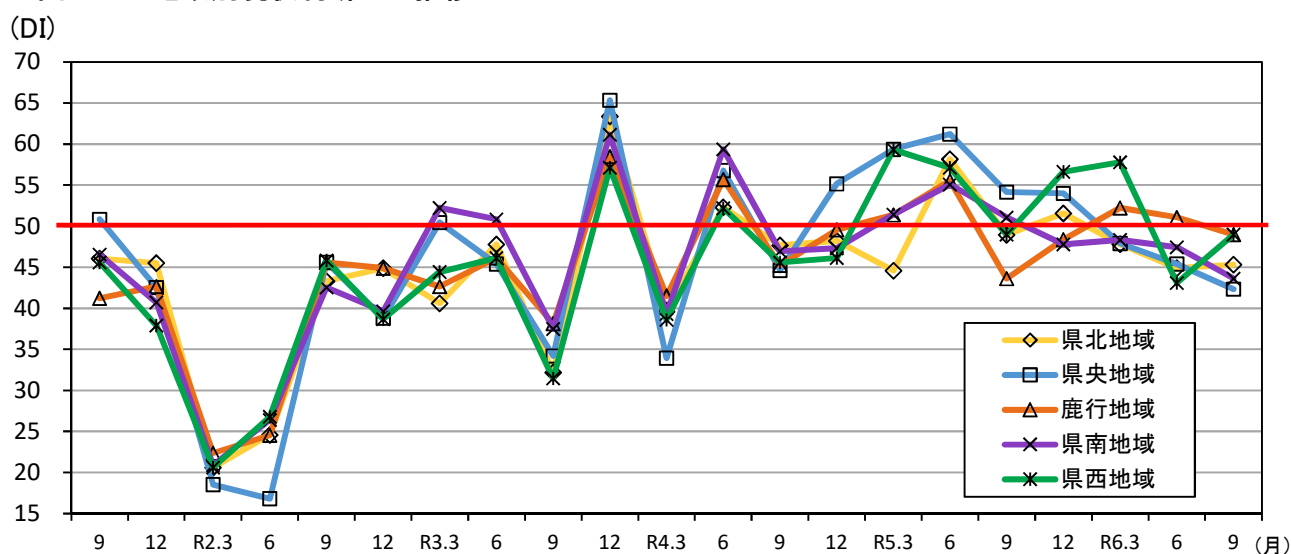
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計		49.0	56.6	57.8	43.1	49.0
家計動向関連		50.9	57.8	58.6	43.8	49.1
企業動向関連		43.8	56.3	58.3	40.0	46.9
雇用関連		56.3	50.0	50.0	50.0	56.3

表2-10 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	2.0%	8.2%	2.1%	2.1%	2.0%
やや良くなっている	20.4%	24.5%	41.7%	19.1%	22.4%
変わらない	51.0%	55.1%	43.8%	38.3%	49.0%
やや悪くなっている	24.5%	10.2%	10.4%	29.8%	22.4%
悪くなっている	2.0%	2.0%	2.1%	10.6%	4.1%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9月	R4.12月	R5.3月	R5.6月	R5.9月	R5.12月	R6.3月	R6.6月	R6.9月
県全体	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4	46.1	47.3	34.7	61.2	38.6	55.3	46.0	49.3	53.5	57.5	49.4	51.8	50.9	46.4	45.9
県北	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9	40.8	47.8	32.2	63.4	39.6	52.3	47.7	48.2	44.6	58.2	48.9	51.6	47.8	44.9	45.3
県央	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8	50.5	45.4	34.2	65.4	33.9	56.8	44.6	55.2	59.4	61.2	54.2	54.0	47.9	45.4	42.3
鹿行	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1	38.1	58.5	41.5	55.7	45.3	49.6	51.4	55.6	43.6	48.4	52.2	51.1	49.0
県南	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9	37.5	61.2	39.3	59.4	46.9	47.3	51.4	55.1	51.1	47.8	48.3	47.4	43.6
県西	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7	44.4	46.1	31.5	57.1	38.6	52.2	45.6	46.1	59.3	57.1	49.0	56.6	57.8	43.1	49.0
全 国	45.6	40.3	13.8	38.4	48.5	36.7	47.3	45.6	43.1	59.2	46.4	51.8	49.5	49.8	52.6	53.2	50.7	51.8	49.8	47.0	47.8(季節調整値)
	45.7	40.7	15.9	38.0	48.7	36.5	49.5	45.4	43.3	58.6	48.9	51.8	49.6	49.0	55.2	53.6	50.4	50.9	52.4	47.3	47.6(原数値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

景気の先行き判断DIは49.0となった。前回調査より3.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野 \ 調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計	50.5	44.7	55.4	45.9	49.0
家計動向関連	54.5	47.3	58.3	46.6	52.6
企業動向関連	46.7	40.0	50.0	46.9	43.3
雇用関連	37.5	43.8	56.3	37.5	43.8

表2-12 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	2.1%	0.0%	4.3%	2.0%	4.2%
やや良くなっている	31.9%	12.8%	26.1%	12.2%	20.8%
変わらない	36.2%	57.4%	56.5%	55.1%	45.8%
やや悪くなっている	25.5%	25.5%	13.0%	28.6%	25.0%
悪くなっている	4.3%	4.3%	0.0%	2.0%	4.2%

② 県央地域

景気の先行き判断DIは49.0となった。前回調査より1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野 \ 調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計	51.6	49.0	52.6	48.0	49.0
家計動向関連	49.1	50.8	55.4	49.1	49.2
企業動向関連	56.7	43.8	48.4	46.9	46.7
雇用関連	50.0	56.3	50.0	43.8	56.3

表2-14 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	2.1%	2.0%	2.1%	2.0%	0.0%
やや良くなっている	20.8%	20.0%	25.0%	18.4%	18.4%
変わらない	62.5%	52.0%	54.2%	53.1%	59.2%
やや悪くなっている	10.4%	24.0%	18.8%	22.4%	22.4%
悪くなっている	4.2%	2.0%	0.0%	4.1%	0.0%

③ 鹿行地域

景気の先行き判断DIは49.0となった。前回調査より2.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月 分野	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計	50.0	51.6	53.9	46.2	49.0
家計動向関連	50.0	49.1	55.6	47.2	45.0
企業動向関連	50.0	57.1	51.8	46.9	56.3
雇用関連	50.0	50.0	50.0	33.3	50.0

表2-16 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	2.1%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%
やや良くなっている	23.4%	19.6%	33.3%	21.7%	28.0%
変わらない	51.1%	63.0%	44.4%	43.5%	44.0%
やや悪くなっている	19.1%	13.0%	17.8%	23.9%	24.0%
悪くなっている	4.3%	2.2%	2.2%	8.7%	4.0%

④ 県南地域

景気の先行き判断DIは45.2となった。前回調査より3.8ポイント低下して、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月 分野	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計	54.3	42.8	54.4	49.0	45.2
家計動向関連	57.4	41.7	52.9	50.8	44.6
企業動向関連	50.0	44.6	56.7	50.0	43.3
雇用関連	50.0	43.8	56.3	31.3	56.3

表2-18 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	6.4%	4.4%	2.2%	2.0%	0.0%
やや良くなっている	21.3%	8.9%	26.7%	24.5%	19.1%
変わらない	55.3%	48.9%	60.0%	44.9%	48.9%
やや悪くなっている	17.0%	28.9%	8.9%	24.5%	25.5%
悪くなっている	0.0%	8.9%	2.2%	4.1%	6.4%

⑤ 県西地域

景気の先行き判断DIは51.0となった。前回調査より0.1ポイント低下したものの、横ばいを表す50を7期連続で上回った。

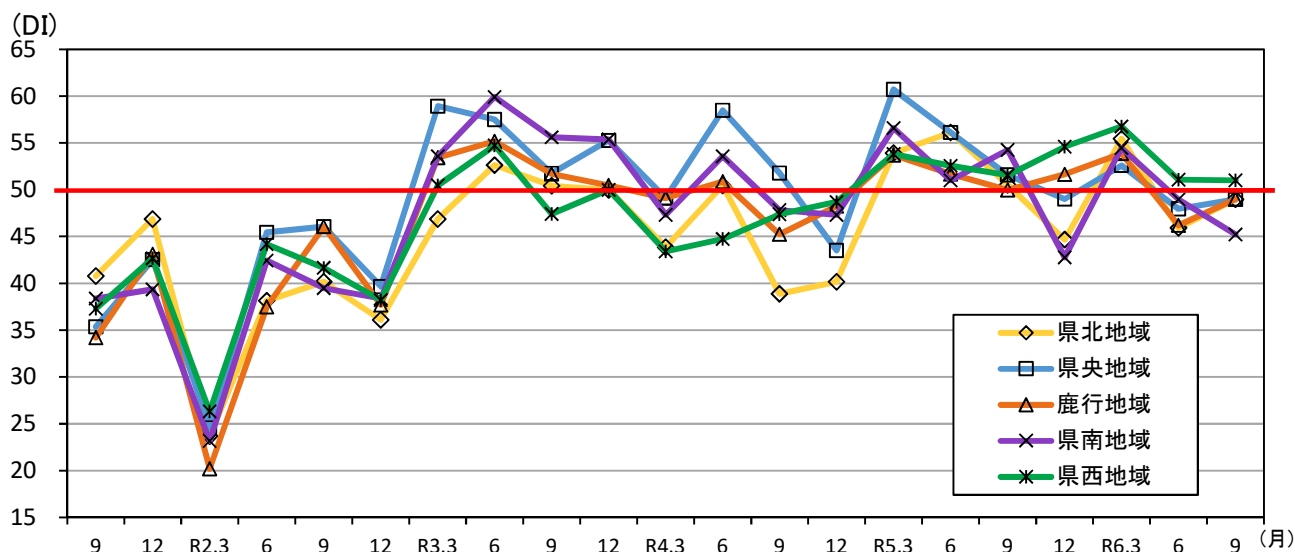
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
合 計		51.5	54.6	56.8	51.1	51.0
家計動向関連		49.1	58.6	60.3	50.0	50.0
企業動向関連		54.7	48.4	50.0	53.3	53.1
雇用関連		56.3	50.0	56.3	50.0	50.0

表2-20 回答構成比

	令和5年 9月	令和5年 12月	令和6年 3月	令和6年 6月	令和6年 9月
良くなっている	2.0%	4.1%	2.1%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	26.5%	24.5%	37.5%	19.1%	26.5%
変わらない	51.0%	59.2%	45.8%	68.1%	55.1%
やや悪くなっている	16.3%	10.2%	14.6%	10.6%	14.3%
悪くなっている	4.1%	2.0%	0.0%	2.1%	4.1%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

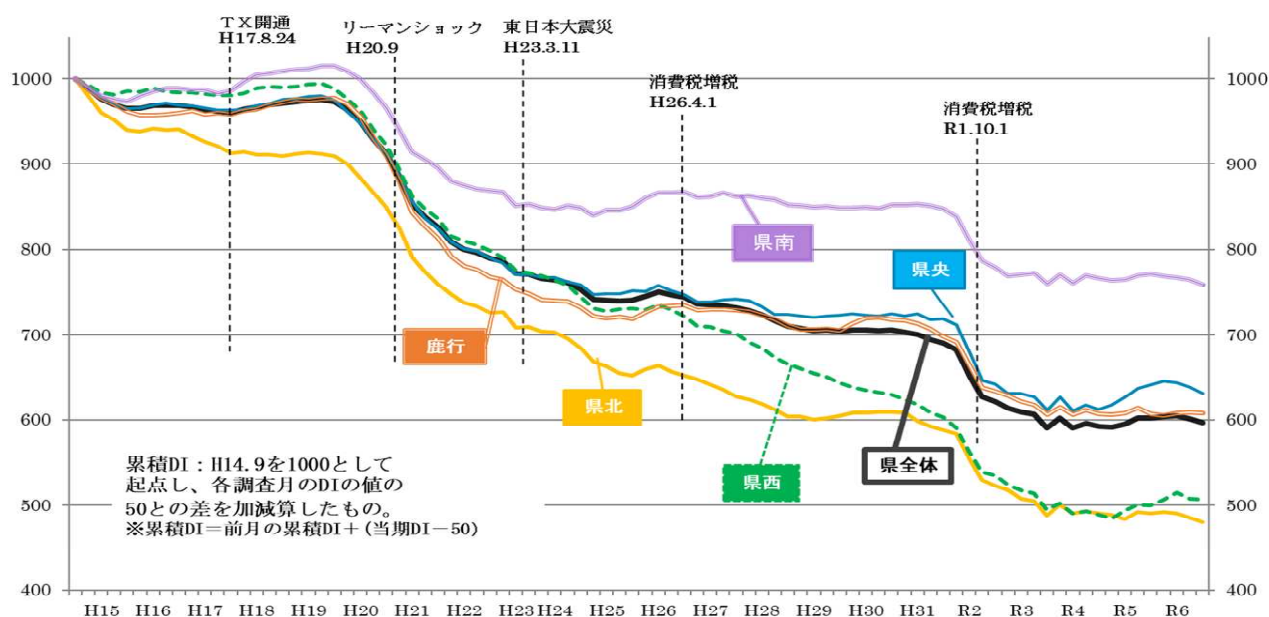


	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9月	R4.12月	R5.3月	R5.6月	R5.9月	R5.12月	R6.3月	R6.6月	R6.9月
県全体	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0	52.7	56.0	51.4	52.2	46.6	51.7	46.3	45.6	55.8	53.5	51.6	48.6	54.6	48.0	48.7
県北	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1	47.4	52.6	50.4	50.0	43.9	50.5	38.9	40.2	53.9	56.1	50.5	44.7	55.4	45.9	49.0
県央	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7	58.6	57.5	51.8	55.3	49.1	58.5	51.8	43.5	60.7	56.1	51.6	49.0	52.6	48.0	49.0
鹿行	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7	53.4	55.2	51.7	50.5	49.1	50.9	45.3	48.2	53.7	51.7	50.0	51.6	53.9	46.2	49.0
県南	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9	55.6	55.4	47.3	53.6	47.8	47.3	56.6	51.0	54.3	42.8	54.4	49.0	45.2
県西	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7	47.4	50.0	43.4	44.7	47.4	48.7	53.8	52.6	51.5	54.6	56.8	51.1	51.0
全 国	37.0	45.3	19.0	44.1	47.4	37.1	48.6	51.7	56.9	50.8	48.1	48.1	49.6	47.8	53.6	52.4	50.1	50.4	51.2	47.9	49.7(季節調整値) 49.2(原数値)
	36.7	44.5	18.7	44.8	47.1	36.1	48.6	52.6	56.7	49.5	48.4	49.2	49.3	46.3	54.1	53.6	49.7	48.6	51.9	49.2	

(参考) 地域別累積DI

地域別景気ウォッチャー調査累積DI

(H14年9月=1000)



Ⅲ 景気判断コメント — 1 景気現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	建設業	開発分譲地の契約が増え、分譲住宅も売却できたため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	小売業 (弁当・惣菜店)	天候に恵まれ夏季は順調に推移している。イベント、お祭りなども従来どおりの開催となり人の流れが戻ってきたようなので、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	来館者数は、対前年比で若干数伸びているため、やや良くなっていると判断した。一方で、予約プランのグレードにはあまり変化が見られないため、個人景気は良くなっていないのかもしれない。
		ドライブイン	売上高、客数とも若干上昇しているため、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	今月の収支バランスを見ても支出は増加しているが、それと同様に収入のベースが上がっている。また、支出の細目にはなるが、調査研究費などの経営状況の悪い最中では縮小させるものも、現状は執行できるようになっている。客の様子でいうと、比較的動きの早い高齢者層の来客が増えており回復傾向を感じるため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	3か月前と比べて売上げが上がったため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	前年度7~9月の各月の予約状況と比較して、各月の前年度同月同日実績を、先取り予約がクリアしており、ゴルフ場利用の意識は伸びていると感じる。県北地区の各ゴルフ場と情報交換したところ、来場者実績は前年度並みか、100%をクリアしているコースが半数以上あるという報告が多かったことから、やや良くなっていると判断した。
変わらない	企業	製造業 (化学工業)	円安による良い影響を受けている企業が活性化している印象を受けるので、やや良くなっていると判断した。
		建設業	見積り依頼は増加している。凍結になっていた物件が再開することとなった事例もあるので、やや良くなっていると判断した。
	家計	自動車販売店	前年比でみても、3か月前も今月もほぼ変わらない。景気が良くも悪くもないと判断した。
		小売業 (水産物)	客数が伸びず、客単価も上がらないため、変わらないと判断した。
		小売業 (時計)	一部では景気がやや上向きという話も聞くが、地方には未だ波及していないため、変わらないと判断した。
		レストラン	良くなっているとか悪くなっているとか、特に肌で感じないため、変わらないと判断した。
		スナック	客が金を使わなくなっていると思うので、変わらないと判断した。

変 わ ら な い	家計	日本料理店	6月と比較すると、9月は客数、売上額ともに増加しているが、昨年と比べると減少している。9月はブドウや梨狩りに来る客が多く、当店にも来店していただいているが、変わらないと判断した。
		旅行会社	3か月前とほぼ変わらないと思う。
		タクシー会社	前年比でそれほど伸びていないため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	物価高の影響もあり、消費がまだまだ弱く、飲食店の客数も横ばいのため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	暑さのせいで行動範囲が狭くなり、遠出して買物などしたくないという消費者が多いようだ。
		設計事務所	新しい仕事の話がない。現状維持のため、変わらないと判断した。
	企業	製造業（食料品）	日本は輸入大国なので過度な円安はダメだが、急激な為替変動も混乱を招く。今の相場ではまだ良くはないと思うので、変わらないと判断した。
		製造業（金属製品）	売上げが極端には変わっていないため、変わらないと判断した。
		製造業（電気機械器具）	取引先の中で大きなウェイトを占めていた大手企業から、大型変圧器を令和7年3月に終了するとの通達があった。しかし、それまでに受注案件を完了させるということは客観的に見て非常に困難と思える。現在、その一部の絶縁物加工の受注を受け、忙しく作業をしている。今後作業量が減少するのは明らかだが、今は変わらず忙しいため、変わらないと判断した。
		製造業（精密機械器具）	受注状況が引き続き好調であるため、変わらないと判断した。
		製造業（精密機械器具）	仕事の受注が増えない。顧客からも同様の話を聞くため、変わらないと判断した。
		金融業	全業種にわたり、人手不足のうえ人件費の上昇・物価高騰等により、収益に大きく影響していることから、3か月前と大幅な変化はないと判断した。
		不動産業	人の動きが少し増えたように感じるが、夏休みやお盆期間の影響が大きい。客層としては、相変わらず安い物件を求めている人が多く、3か月前と変わっていないように感じる。
	雇用	求人広告	求人広告の投稿量や求職者数に大きな変化は感じられないため、変わらないと判断した。
		学校就業関係者	取引業者などの会話から、変わらないと判断した。
		求人開拓員	利用者は若干増加しているが、求人数はまだ横ばいのため、変わらないと判断した。
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	客単価の伸びが鈍く、客数が落ちているため、やや悪くなっていると判断した。お彼岸とお盆の各2日間があまり良くなかった。
		スーパー	米の価格が上昇している。米以外の物価も上昇しており買控えが起きているため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	人件費の高騰に伴いシフト削減など賃金抑制のしわ寄せが来ていると感じるため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（食料品）	資材等の値上げが止まらないため、やや悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	客層が高齢なので、暑さや天候不順により来店客数が減少したため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	9月は例年、最も数字が上がらない時期だが、今年は物価高が大きな負担となり、例年以上に数字が落ち込みそうなので、やや悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	売上げの前年比伸び率は低下しているので、やや悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	3か月前と比較して、夕食コースメニューの注文において、最も安いコースメニューを選ぶ客がかなり増え、高い方のメニューを選ぶ客が減っている。以前は「どうせ旅行に行くなら、せっかくなので豪華なメニューを」という客が多かったが、最近は「旅行には行きたいが、なるべく安く済ませたい」という要望が多いように思うので、やや悪くなっていると判断した。
		ゴルフ場	暑さのためか、外出の機会が減少していると思う。来場者数が少ないため、やや悪くなっていると判断した。わざわざ外出して消費活動をしようとする方が少ないように感じる。
		写真店	とても暑くて客の出入りが少ないため、やや悪くなっていると判断した。

やや悪くなっている	家計	美容室	最近、物価高の影響が以前にも増して出始めているため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	林業関係者	丸太や製品等の価格は大手業者の動向によるが、一般生活品や燃料、部材等の値上げが止まらないため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	核融合関連の据付工事が本格稼働し始めたものの、液晶・半導体製造装置関連や建設機械関連において注残が残っているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	家電関係の受注が芳しくないため、やや悪くなっていると判断した。
		非製造業（その他）	受発注額は横ばいだが、半導体産業（米国）の動向が芳しくないため、やや悪くなっていると判断した。
	雇用	公共職業安定所	求人に対し、求職者が多くなっている。60歳以上の求職者が増えている原因としては、雇い止めなどがある。事業所としては派遣や有期雇用ではなく、若年者の直接雇用に切り替えを図っている。特に製造業では明暗が分かれているようで、自動車関連のサプライ系では、ガソリン車を主体としている所は先行きに不安があり、金属加工系は上向きになっているようである。
悪	企業	水産業関係者	物価高を強く感じるようになったため、悪くなっていると判断した。

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	小売業	来店客数、売上が伸びている。催事やイベントの集客も増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	予約、利用者数は大きくは伸びていないが、3か月前と比べ、若干ではあるが改善したように思われる。原材料の値上げにより、客単価の減少を心配したが、それほど影響はなく、全体では少しではあるが良くなったと思うので、やや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	客の動きがやや活発になっているため、やや良くなっていると判断した。
		バス運転手	各地でイベントや祭りが開催され、人の動きも活発になり、バスの乗車客は増えたように感じたため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー銭湯	前年比で若干良かったため、やや良くなっていると判断した。
変わらな い	家計	商店街代表者	あまり変化は感じられない。
		コンビニエンスストア	昨年5月の新型コロナウイルス5類移行後に客数が増加、今年に入ってから現在もその客数は維持しており、良い意味で変わらず好調であるため、変わらないと判断した。
		小売業	3か月前は前年と比較して売上げ、客数共に減少しており景気が悪い状態だったが、現在も同じような状況が続いているため、変わらないと判断した。
		楽器販売	良い部門とそうでない部門に分かれているため、変わらないと判断した。
		自動車販売店	客の業種により差はあるが、平均的には変わらないと判断した。
		日本料理店	台風などで多少客足は少なかった気もするが、客足は3か月前に比べて大差なかったため、変わらないと判断した。
		洋風居酒屋	コロナ禍以降、売上げが3～5割減少している日が続いているため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	売上げについては、全国的なイベントがあったにも関わらず、前年と比べてもほとんど同じだったことから、変わらないと判断した。
		道の駅	買控えが多く、嗜好品の売れ行きが悪いため、変わらないと判断した。贅沢を控えている。
		レジャー施設	引き続き材料費等の高騰や値上げのニュースが続いている。景気回復の兆しは感じられず、インバウンド需要の恩恵も特にないため、現状は変わらないと思う。
		ゴルフ場	物価高騰により、変わらないと判断した。
		設計事務所	受注状況に変化がないため、変わらないと判断した。
		住宅販売会社	建築及び賃貸不動産の動きは変わらない。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	現状での受注・売上げ状況をみると、まだまだ動きが感じられないため、変わらないと判断した。
		製造業（金属製品）	年初から前年比で売上げが減少しており、それが継続している状況なので、変わらないと判断した。
		製造業（輸送用機械器具）	3か月前と同様にエネルギー価格や物価の高騰が継続しており、大きな変化は感じられないため、変わらないと判断した。
		建設業	景気を変えるような出来事がないため、変わらないと判断した。
		運輸業	現状では、顧客製品の出荷台数も変わらない状況である。
		運輸業（道路貨物運送業）	労働時間の規制により長距離輸送を担当していた運送業者が地場輸送にシフトしている状況がある。運送業者（保持車両）の減少によって、地場運送的には運送案件の量に変化は見られないため、変わらないと判断した。
		金融業	中心市街地活性化事業が行われているが、開発は一部に留まっており、目に見えた効果は表れていない。物価高騰に伴う価格転嫁は一部事業所のみであり、多くの小規模事業者は依然として人材不足問題を抱えているため、変わらないと判断した。
		不動産業	特に大きな変化がないため、変わらないと判断した。
		情報通信業（情報サービス業）	物価高、賃金上昇、減税などの動きがあったが、あまり変わった感じがしない。

変わらない	雇用	公共職業安定所	前年度比でみると、管内の有効求人数に大きな変動はなかった（8～10月まで12,000人程度）また、新規求人数をみても主だった動きはみられなかった（8～10月まで4,000人程度）ので、変わらないと判断した。
		学校就業関係者	企業側の採用意欲は依然として高い傾向にあり、新卒向けの求人情報の提供も同様に多い状況となっていることから、3か月前に引き続き安定した状態にあると考えるため、変わらないと判断した。
		求人開拓員	求人数は少し多くなってきているようだが、求職者数に大きな変化がないため、変わらないと判断した。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	顧客からの問合せ、見積り依頼等が減ってきているため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	周辺競合店の閉店から、客数・供給共に3～5%程伸長しているが、供給構造を紐解くと、点単価の上昇や客単価の上昇によるもので、一人当たりの利用点数は3か月前の数値と変わらない。昨年と比べてもマイナスで推移しており、一人当たりの食品に対する消費点数は減少していると感じるため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	売上げが前年比で低下しているため、やや悪くなっていると判断した。
		酒・各種商品小売業	物価上昇で節約傾向を感じる。酒類に関しても出来るだけ安い店で購入しようとする意識を感じるため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	今月の伸び率は、前年の伸び率ほど良くないので、やや悪くなっていると判断した。
		割烹料理店	食材高騰のため、利益が上がらないので、やや悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	予約受注が弱いと感じているため、やや悪くなっていると判断した。
		観光名所	売上げの伸び率がやや悪くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		ボウリング場	物価上昇の影響があるため、やや悪くなっていると判断した。
		写真店	物価高の影響が大きく、厳しい状況が続いているため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	製造業(食料品)	夏の暑さ、台風等の影響により人流が減少したと思われるので、やや悪くなっていると判断した。
		製造業(一般機械器具)	金属加工の仕事が、以前にも増して受注しにくくなっている印象があるため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業(精密機械器具)	出入り業者の話では景気が良いとは言っていないので、やや悪くなっていると判断した。
		製造業(精密機械器具)	受注が減少しているため（前年同月対比82%）やや悪くなっていると判断した。
		建設業	民間投資が減少しているように感じるため、やや悪くなっていると判断した。
	雇用	求人広告	各社からの発注が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
悪くなっている	家計	スーパー	客は必要のないものは買わない。売上げが減少しているため、悪くなっていると判断した。今年3月の事業譲渡後、これまでのショッピングセンター専門店全体による販促活動から、大手企業の販促活動に変わったが集客に繋がっていない。また、空床区画が目立つ。
	企業	製造業(窯業・土石製品)	見積り依頼は増加しているものの決定案件が少ないため、悪くなっている判断した。

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	客単価が上昇しているため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	予約数が少し増加したため、やや良くなっていると判断した。
		運転代行	前年と比べると、伸び率がやや上がっているため、やや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	客が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		道の駅	週末には、デスクワークの職員も客の対応で売場へサポートに入る場面が多くなっている。団体旅行者も徐々に増加してきており、土産物の売上げが増加してきている。客単価も上がっているため、やや良くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	賃金の上昇傾向により、長らく続いている物価高に対して、各個人の気持ち的に少しゆとりが出ているようだ。店の客単価が前年度より上昇しているため、やや良くなっていると判断した。
		製造業（一般機械器具）	大型の見積りの引き合いがある。また、今まであまり引き合いがなかった新規顧客から見積りの依頼もあるため、やや良くなっていると判断した。
		製造業（精密機械器具）	石川県の地震による影響から、顧客がやや回復傾向であるため、やや良くなっていると判断した。石川県への出荷が大部分を占めているため、地震の影響が未だにある。
		製造業（金属製品）	コロナ禍明けから少しずつ購買力が上昇しているため、やや良くなっていると判断した。
		運輸業（道路貨物運送業）	売上げは右肩上がりなので、やや良くなっていると判断した。
	雇用	民間職業紹介業	化学工場を中心とした顧客にヒアリングしたところ、昨年と比較して生産が右肩上がりで増員をしたいという依頼が増えている。求人が増加しているため、やや良くなっていると判断した。
変わらない	家計	商店街代表者	物価の高騰や人件費の上昇などが続いており、利益を圧迫している状況は3か月前と比べほぼ変化はないと思われる。
		スーパー	客数、客単価に大きな変動はなく、安定している。この状況は、3か月前と比較して同様の傾向であるため、変わらないと判断した。
		スーパー	一品単価の上昇による売上げ増はありつつも、来客数に落ち着きが見られるため、変わらないと判断した。前年同月と比べると客数は若干下回っている。
		家電販売店	景気が良くなったとは思えないので、変わらないと判断した。
		小売業（菓子類）	前年比がほとんど変わらないため、変わらないと判断した。
		小売業（薬品店）	調剤薬局なので性格上、処方箋を持参する患者を待っている状況だが、3か月前と比べ処方箋の枚数はあまり変わらないため、変わらないと判断した。
		小売業（食品）	魚の水揚げ量が変わらないため、変わらないと判断した。
		割烹料理店	物価は上がっているが、飲食の予算は増える気配がないため、変わらないと判断した。
		観光型ホテル	3か月前と比較すると、季節要因以外については変わらず安定しているように感じるため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	良い話を聞かないので、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	入場者数に伸びがなく、売上げも伸び悩んでいるため、変わらないと判断した。
		クリーニング店	4月～6月はやや良かったが、7月～9月にかけては暑さのせいか、売上げが伸びなかったため、変わらないと判断した。
		住宅販売会社	商談案件の数や受注件数が横ばいの状況が続いているため、変わらないと判断した。
		住宅販売会社	良くも悪くも変わっていない。
	企業	製造業（その他）	顧客への値上げ、仕入先からの値上げ、ともに同程度の速度、率で進んでおり、プラスマイナスゼロという感じなので、変わらないと判断した。
		製造業（ゴム製品）	受注状況から、変わらないと判断した。

変 わ ら な い	企業	製造業（鉄鋼業）	大きく状況が変わる要素はないため、変わらないと判断した。
		建設業	物価の上昇が顕著なまま、好転する要素がないため、変わらないと判断した。
		建設業	受注物件に特別な変化がみられないため、変わらないと判断した。事業拡大のための設備投資は検討されているが中々具体的になっていない。
		金融業	コンビニート内企業関連の工事業者や宿泊業、飲食店の動向、小売店の状況から人流を含め売上げは横ばいで推移していることから、変わらないと判断した。
		保険業	人口減少が気になるが、景気に変化はないと判断した。
		不動産業	客の購買意欲が低下しており、来店者も増えていない。アパート、コーポ等の賃貸希望の来店者も少なくなっているような気がするため、変わらないと判断した。
		不動産業	来客数を比較した結果、変わらないと判断した。
		サービス業	国内の需要は前期と比較してほぼ同等なので、変わらないと判断した。
	雇用	公共職業安定所	円相場の不安定さはあるものの、事業所の人手不足感に変わりはないため、変わらないと判断した。
		学校就業関係者	大手企業や輸出中心の企業、都会や有名観光地を有する地域は良くなっていると思われるが、地方では人手不足や物価の高騰により景気が良くなっているとは思えないため、変わらないと判断した。
		求人開拓員	県主催の就職面談会があるので、事業者求人数を意識してみているが、大きな変化は感じられないため、変わらないと判断した。一方、求職者においては高齢者が増えていて、雇用面でのアンマッチを感じる。
や や 悪 く な っ て い る	家計	衣料品販売店	顧客の来店頻度、買上げ額が減少している。お得意様以外の一般客の来店も少ないため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	ここ最近、客数は増加傾向だが、客単価が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業	色々な物やサービスなどが値上がりしているため、消費者の財布の紐は固くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		和食レストラン	物価高や人手不足から、やや悪くなっていると判断した。
		洋食食堂	食材等の値上げラッシュが続いている。夏の色々なイベントも終わり、財布の紐が固くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		日本料理店	物価上昇や、米騒動で米の仕入れも大変である。客も余計な出費で大変だと話していた。普通に生活することが大変であり、心なしか若い世代の子供連れが少なかったため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	前回よりも悪くなってきているように思う。仕事をしていても、以前より活気がない。時間待ちがかなり多くなっているため、やや悪くなっていると判断した。基本的に都会と違って、タクシーを流しているのではなく、電話か無線を待って仕事をしているので、現状は厳しい。
		レジャー施設	猛暑、自然災害（地震・台風）などにより施設利用者、売上げが減少した。また、海水浴場の閉鎖及び近隣の海水浴場での水難事故も影響し、海水浴場利用の人も少なかったため、やや悪くなっていると判断した。
悪	家計	企業 製造業（食料品）	原材料の値上がりや経費の値上がり等に伴い、昨年12月に10%の商品の値上げを実施した。しかしながら、それ以後も値上がりが続く原価を押し上げている。これ以上値上げをすると、消費者離れがあるのではないかと考えるので、やや悪くなっていると判断した。景気を良くするためには、消費者の可処分所得を上げることが不可欠だ。
		農産物直売所	店の前面道路の交通量が少なくなり、客数も激減したため、悪くなっていると判断した。
		小売業（書店）	物価高のため、趣味へ金を使う人が減少していると感じるため、悪くなっていると判断した。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	洋食レストラン	高めの価格設定の弁当予約を受けられるようになり、イートインの客の他に売上げが獲得できるようになったため、良くなっていると判断した。
	企業	運輸業（倉庫業）	9月前半に台風が長く居座った影響で、海上コンテナの輸送が遅れたので、9月中旬に海外からの貨物の入庫が多かったため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	小売業	6月期と9月期（19日現在）を比較し、施設の主要指標（施設売上げ、レジ客数、入観客数）が高伸長しているため、やや良くなっていると判断した。9月新オープンのテナントの開店10日間売上げが、軒並み好調に推移している。カテゴリー別売上げも、全カテゴリーで6月期の売上げ前年比を上回る成果を残した。
		都市型ホテル	飲食においては、物価高騰もあり客単価を上げているが、利益が出ているかという点と以前とあまり変わっていない。宿泊においては、稼働率が2～3年前より上がっているため、やや良くなっていると判断した。団体客が多く、様々な客層で賑わっている。
		テーマパーク職員	梅雨が明け、夏休みに入ったため、やや良くなっていると判断した。
		設計事務所	問合せが多くなったため、やや良くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	県南地域でも米の収穫が8月上旬より始まったが、今年度の米の在庫が例年より少なく、JA及び買取業者の米買入価格が昨年より大幅に上昇した。農家の手取り収入も大幅に向上したと思われ、これまでの苦労も一部は払拭されるものと思われるため、やや良くなっていると判断した。ただし、価格設定面で、JAの米集荷は思わしくなく苦戦している。
		製造業（飲料）	各団体に工場見学会などの開催が増えているため、やや良くなっていると判断した。
	雇用	民間職業紹介業	県南に立地する大手農業機械メーカーにおいて生産量が好調のため、やや良くなっていると判断した。
変 わ ら な い	家計	スーパー	5月と8月の結果を比較すると、お盆月ということもあり、平均日商、平均客数、客単価などは微増している。数値だけ見るとやや良くなっていることにもなるが、毎年のことであるため、変わらないと判断した。
		農産物直売所	客数が戻りつつある。物価高の世の中で、直売所は他の小売店より、安い商品があるからだと思う。しかし、景気が良くなってきているとは思えないため、変わらないと判断した。
		食堂	天候不順が影響しているため、変わらないと判断した。
		都市型ホテル	良くなっている雰囲気がないため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	単純に売上げが上がってないので、変わらないと判断した。
		タクシー会社	景気が良いとは思えないため、変わらないと判断した。
		サービスエリア	休日は、観光バスの立ち寄り状況は回復していないが、平日は、観光バスやスポーツ関連の団体（学生）のバスが増加傾向にある。しかし依然として物価上昇による値上げが続く、店舗によっては購入客数が減少傾向にある。売上げ自体は、前年に比べ微増ではあるが、客単価が値上りした分が後押ししている要因もあり、変わらないと判断した。
		ボウリング場	客に特に目立った動きがみられないし、良い話も耳にしないため、変わらないと判断した。
		レジャー施設	売上げに大幅な変化が認められないため、変わらないと判断した。
		住宅販売会社	今後の金利上昇を見込んで駆け込み需要があるかと思ったがそうでもなく、3か月前と比べて横ばいと感じたため、変わらないと判断した。
	企業	農業関係者	9月期（初旬まで）の来客数・客単価を6月期と比較すると、両者ともほぼ変わりはない。前年同期と比較しても、ほぼ変わりはないため、変わらないと判断した。
		製造業（食料品）	売上げが横ばいのため、変わらないと判断した。
		製造業（非鉄金属）	仕事量は増えてきているものの、材料費等が高騰し収益率を圧迫しているため、変わらないと判断した。
		建設業	相変わらず値上げばかりのため、変わらないと判断した。

変 わ ら な い	企業	建設業	資材の流通は良くなったが、労働力不足が問題になっていると思うので、変わらないと判断した。
		金融業	人の動きは、コロナ禍前までは戻っておらず、飲食業は来店頻度が減少したままである。原材料費が高騰したまま高止まりで、建設業は新築の動きも鈍いため、変わらないと判断した。
		不動産業	不動産の需給バランスは特段の変動がないため、変わらないと判断した。
	雇用	求人広告	取引先では、新たに人員を採用する余裕が今までと変わらずないので、変わらないと判断した。
		学校就業関係者	採用についての問合せが、3か月前と同等程度あるため、変わらないと判断した。
		求人開拓員	9月～10月の食品値上げが3,000品目超あり、実質賃金上昇と相殺されるため、変わらないと判断した。
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	客数が大きく減少していることから、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	来店客の話しや購入点数の低下から、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	前年比の売上げをクリアするのが難しくなっている。価格は上がっているのに、買上げ点数が減っているため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	高価なものを買わず、節約志向のため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（生花店）	お祝いの胡蝶蘭の動きが以前より少ないため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（米穀）	物価高が止まらない。あらゆる商品が値上がりして、仕入れ価格を販売価格に反映出来ないため、やや悪くなっていると判断した。
		日本料理店	農家の稲刈りシーズンで、会合等が少なく予約の入りがいまいちだったため、やや悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	物価高の状況で、経費の出費が増え、当施設でも販売価格を値上げした結果、値上げ後かなり稼働が下がってしまったため、やや悪くなっていると判断した。
		ゴルフ場	現在はやや悪くなっている。米が高く中々手に入らない。単価が高く売ればすぐ売れるというのは、儲かるという事ではなく品物が手に入らないという事。景気としては良くないと思われる。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	昨年と比べ、受注数は減少しているため、やや悪くなっていると判断した。県南地区の同業者でも何軒か廃業したとの話も耳にした。
		製造業（窯業・土石製品）	コンクリート二次製品の出荷数量が例年と比較して伸び悩んでいるため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（窯業・土石製品）	物価高が続いており、材料の値上げ、運賃の値上げなど取引先から再度、要請を受けている状況。また、借入の金利も今後上がるとのアナウンスも受けている（上げ幅はまだ連絡なし）。色々なコストの上昇を考えると、当社の製品の売価もそれ以上に上げていかなければ経営ができなくなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（その他）	取引先からの注文が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
悪 く な っ て い る	家計	家電販売店	客数及び売上げが減少しているため、悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	売上げにおいて、3か月前の前年比と比べると、今月の伸び率が悪くなっているため、悪くなっていると判断した。
		理・美容店	7月、8月は新型コロナウイルスや風邪が流行って、キャンセルがあったり、予約も入らなかった。既存の顧客の3割ほどが来なくなったため、悪くなっていると判断した。
		理・美容店	物価高の影響で、悪くなっていると判断した。
	企業	不動産業	新築・中古問わず住宅の販売、土地の販売、賃貸需要すべてが減少しているため、悪くなっていると判断した。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	設計事務所	仕事の依頼が多いため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	スーパー	お盆による帰省や、南海トラフ地震注意報及び台風による買いだめ需要、米特需など個人消費は活発になった。特に、米不足懸念による特需・相場高騰の影響は近年まれにみる消費動向となっている。それに伴い、米に代わる主食（パン、パスタ、麺、レトルトご飯）の販売も好調のためやや良くなっていると判断した。
		農産物直売所	果物関係の販売が好調となったため、やや良くなっていると判断した。
		小売業	旅行に行く機会が増えたり、車の買替えが増えたり、金属が高く売れるなどの話を聞くので、やや良くなっていると判断した。
		レストラン	少しずつ客が増えてきている感じがするので、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	温浴利用者は昨年とそこまで変わらないが、売店の利用者や売上げは増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
		道の駅	3か月前に比べて客数が伸びているため、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	公園の来園者は猛暑のため落ちてはいるが、予約制の有料施設についてはそれ程落ち込みはない。夏休みもあったため、売上げは上がったので、やや良くなっていると判断した。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	コスト高、物価高を容認する人が増加している気がするので、やや良くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	3か月前から、勤務変更や人員増の要請が継続しているため、やや良くなっていると判断した。
		不動産業	事業用物件の需要が増加しているため、やや良くなっていると判断した。
	雇用	求人広告	今振り返ると、3か月前は新しい提案に対して消極的な企業が多かったような印象があるため、現在はやや良くなっていると判断した。
変わらない	家計	商店街代表者	特に変わっている様子がない。
		衣料品販売店	季節要因の来客しかなく、一般衣料を購入する客がいないため、変わらないと判断した。
		家電販売店	購入客数は増えたが、エアコンの工事代が高額になるため取付を止めるなど、この暑さにも関わらず保留にする客が少なくないため、変わらないと判断した。
		自動車販売店	商品は以前より流れているが、物価高の影響で原価が上がっているため、変わらないと判断した。
		日本料理店	昼の動きは活発になってきたが、夜の時間帯に回復感がないため、変わらないと判断した。お酒を飲む習慣が少なくなったようだ。
		和食レストラン	コロナ禍後、生活のリズムが変わったが、平日夜の宴会が復活した。しかし、売上げ、客数ともあまり変化がないため、変わらないと判断した。
		旅行代理店	国内旅行は堅調だが、海外旅行がコロナ禍前の1割くらいしか回復していないため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	売上げに関しては、大きな変化はないため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	会社としての売上げは変わっていないため、変わらないと判断した。
		理・美容店	変化のある話はあまり聞かないため、変わらないと判断した。
		商店街代表者	客から景気に関する話題がなかったため、変わらないと判断した。
	企業	農業関係者	現在、主要品目である梨の出荷最盛期を迎え、販売単価は例年を上回っているものの、生産資材の高止まりもあり、農家経営はそれほど良くはないため、変わらないと判断した。
		製造業（食料品）	景気が良くなる要因がないため、変わらないと判断した。
		製造業（電気機械器具）	依然として、材料や仕入れ部品、副資材等の高騰、高止まりが続いている。また、人件費の上昇もあり、変わらないと判断した。

変 わ ら な い	企業	製造業（印刷・同関連業）	紙や材料費、ガソリン、人件費などの値上げなどがあるが、価格は変わらないため、採算が取れなくなりつつあり、変わらないと判断した。
		製造業（金属製品）	基幹産業となっている自動車関連が不安定で、関連する業界も先が見えない様子なので、変わらないと判断した。
		製造業（化学工業）	需要にまだ力強さが感じられず、特定分野を除いてはフル生産には至っていないと感じるため、変わらないと判断した。
		建設業	特に変化を感じない。
		金融業	3か月前と比較して、特段の変化はないように思われるため、変わらないと判断した。
		サービス業（コンサルタント業）	変化が見られない。
	雇用	人材派遣業	取引先の盆明け物量は例年並みで、春先と比較しても伸びは感じないため、変わらないと判断した。
		学校就業関係者	製造業及び建設・設備業からの求人は例年より多く、仕事の量は依然好調を維持しているため、変わらないと判断した。
		求人開拓員	3か月前と比較して利用者人数がわずかに増加しているが、急ぎ再就職を希望する求職者の人数は変化がないため、変わらないと判断した。
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	米不足に尽きる。本業は米屋（今は弁当が主力）なので、ユーザーの買いだめで苦慮している。天候不順が禍していると思われるため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	売上げと客数において、前年比の伸長率がともに低下しているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	株価下落や円高など景気の安定感がなく、値上げの波が止まらないことなどから、客は買控えしていると感じるため、やや悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	米の価格の高騰が著しい。台風10号の影響によるキャンセル等もあり、やや悪くなっていると判断した。
		道の駅	様々な仕入品の値上げに対して、売上げが伸びず低迷状態で推移しているため、やや悪くなっていると判断した。
		ゴルフ場	前シーズンと比較し、予約数が減少傾向のため、やや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	客の購買単価が下がっているように思われる。反物販売の件数も明らかに下がっているため、やや悪くなっていると判断した。
		クリーニング店	猛暑はクリーニング業界にとって条件が悪い（よそ行き衣料を着用する機会が減る）ため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	物価が、何でも高騰しているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（窯業・土石製品）	工場稼働率の減少及び受注残も減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（その他）	受注量が減り、円安による原価高のため、やや悪くなっていると判断した。
悪	家計	製茶販売	暑さのせいもあるのかもしれないが、買物に出る人が少ないため、悪くなっていると判断した。
	企業	製造業（金属製品）	8月から9月にかけては、売上げと受注がかなり減少しているため、悪くなっていると判断した。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	小売業（弁当・惣菜店）	人の流れが戻ってきて消費が伸びているので、良くなっていると判断する。
		レジャー施設	現状で緩やかな上向き傾向であるため、3か月後は良くなると感じる。販売の中でも、一般的な子供向け商品は売れ行きが良く、全体としても季節商品以外での売上げ増が見られるため、良くなっていると判断する。物価高騰も緩やかな上昇になり、これからも支出増が見込まれるため、景気状況としては良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	小売業（時計）	株高等、あまりマイナスの要因はないような気がするので、期待を込めてやや良くなっていると判断する。
		日本料理店	まず、賃金の引上げがある。加えて政権与党の総裁選があり、次の総理大臣も経済対策に力を入れると思う。物価高対策、エネルギー対策や子育て支援などで、経済も上向きになっていくと思うので、やや良くなっていると判断する。
		観光型ホテル	3か月先の予約状況は、対前年と比べ若干数伸びているため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	10月～11月の予約状況は、前年度同月日の予約組数と比較して2倍多く予約を頂いているため、やや良くなっていると判断する。プライベートコンペの予約と、同時パーティのオーダーも動き出しており、今後大手企業等のコンペ等に期待しつつ、幅広い相乗効果として広がることに期待をしたい。
		ゴルフ場	暑さが和らげば、屋外での活動が増え、消費活動が活発になると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		写真店	気候も涼しくなってくると、少しは人の出入りが多くなると思うので、希望も含めて、やや良くなっていると判断する。
		設計事務所	希望的には、やや良くなってほしいと思う。
	企業	製造業（電気機械器具）	同業者が昨年9月に仕事をやめてしまった。同じ絶縁物の加工をしていたが、そのことは多くの取引先にインパクトを与えたようだ。全てではないと思うが、それにより作業量が少し多くなり、生産高も上がった。そこに従事していた作業員2名を弊社で受け入れて、今順調に作業をしてもらっている。今後もそう多くはないと思うが、多少作業は上向きになると思うので、やや良くなっていると判断する。
	雇用	求人開拓員	10月から最低賃金が上がることで、求職者（来所者）が増える事を期待し、やや良くなっていると判断する。
変わらない	家計	スーパー	最低賃金が上がり、多少の回復はあると予想するが、直近3か月は変わらないと判断する。
		衣料品販売店	天候が安定しても客足に変化はないと思うので、変わらないと判断する。
		小売業（酒類）	年末年始の時期だが、物価高が影響し、結果は厳しいと推測されるため、変わらないと判断する。
		小売業（水産物）	物価高騰の話題が出る。
		レストラン	最低賃金も上がり、景気が良くなるように感じるが、扶養枠の問題もあり、企業からすれば労働時間を短縮せざるを得ない。
		旅行会社	今後3か月先も、それほど良くはないと思うので、現在の状況と変わらないと思う。
		タクシー会社	3か月先も現在とそれ程変わらないと思う。
		タクシー運転手	物価高の影響もあり、消費がまだまだ弱く、飲食店の客数も横ばいの状況が当面続くと思われるため、変わらないと判断する。
		ドライブイン	先行きが不鮮明であり、賃金が上がっても物価や電気代に追いつかないような不安があるため、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	南海トラフ地震の報道で、海外予約（特に韓国）が多数キャンセルになった一方で、WEBサイトでは韓国から個人での予約が入り始めた。
		ゴルフ場	予約状況に著しい変化が見られないため、変わらないと判断する。
	企業	林業関係者	総裁選による景気回復を期待したい。しかしながら現状は横ばいかと思うので、変わらないと判断する。

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	最近円高傾向になっているが、為替相場がいろいろなものの価格に影響が出てくるのには半年程度かかるので、景気動向も年明けから春先にどうなるのかを注視することになる。その頃には良くなっていることを願う。
		製造業（化学工業）	日銀の金利政策次第だと思うが、変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連や建設機械関連において注残が残る状態は当面続く見込みのため、変わらないと判断する。
		製造業（精密機械器具）	顧客からの情報では、受注状況は大きく変わらないようなので、変わらないと判断する。
		製造業（精密機械器具）	以前よりは景気回復しているという話も聞くが、しばらく変化がないため、今後も変わらないと思う。
		建設業	特に変わった動きはないと思う。
		金融業	物価高に対する防衛意識が購買にマイナスの影響を及ぼしている。また、人口流出も進んでいることから景気回復には時間がかかると思われるため、変わらないと判断する。
		不動産業	探している物件の価格帯が上昇することはなさそうに思うので、変わらないと判断する。
	雇用	公共職業安定所	年収の壁、最低賃金引き上げに伴う雇い控えがあるため、変わらないと判断する。人件費の高騰による製品の引き上げ、原料の確保への不安と懸念材料が多く、その中での若年労働者の流出があり、地域的に冷え込みが来るのではとの見解がある。
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	クリスマスや年末年始を迎えるものの、節約傾向になると思われる。お中元ギフトも厳しかったので、お歳暮ギフトも厳しくなると予想されるため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	最低賃金は高くなるが、その恩恵は薄く、賃金を抑えて働く時間の調整が入っている。消費者心理としても、賃金上昇の恩恵は少ないと感じるため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（食料品）	円高に変化がない限り景気は良くならないため、やや悪くなっていると判断する。
		自動車販売店	最低賃金アップにより景気が良くなるはずだが、物価高騰の方が賃金アップより生活に大きく影響し、購買意欲の低下につながると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	時期的には多くの方に利用していただけたと思うが、原材料費の高騰が続いており、また、10月からの最低賃金の上昇に伴い、収益率は大幅に減少すると推測されるため、やや悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	当面は「外出はしたいが出費は抑えたい」という傾向が続くと思われる。都心では、ただの繁華街というだけでも観光名所になりえるので、円安による外国人観光客の恩恵を受けられるが、地方では世界的に有名な観光名所でもない限りインバウンド特需は難しいと感じるため、やや悪くなっていると判断する。
		美容室	諸費用の支払いが家計を圧迫している。より価格に敏感になり、出来るだけ安い方安い方へと消費が向かうため、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（金属製品）	大手をはじめ動きが鈍いと感じるため、やや悪くなっていると判断する。
		非製造業（その他）	半導体産業（米国）の動向が芳しくないため、やや悪くなっていると判断する。
	雇用	求人広告	最低賃金の上昇が企業側の負担増となり、雇用に対するハードルが高くなった結果、求人広告の投稿量を減らすという動きが感じ取れるため、やや悪くなっていると判断する。
		学校就業関係者	取引業者などの会話から、やや悪くなっていると判断する。
悪	企業	水産業関係者	安定する見通しがないため、悪くなっていると判断する。
		製造業（電気機械器具）	主力製品であるエレベーターブレーキが、第4四半期は中国向けが半減する計画なので、悪くなっていると判断する。

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	小売業	行楽需要、年末需要に向け消費行動が更に活発化すると予測するため、やや良くなっていると判断する。
		自動車販売店	インバウンド需要の継続、季節的に落ち着いてきて国内需要も向上すると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		農産物直売所	最低賃金の上昇によって賃金が微増する効果で、景気も上向くと思うので、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	このところの燃料費高騰により、利益率は減少傾向にあると思われるが、客数の増加によってカバーできている。よって、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、やや良くなっていると判断する。
		理・美容店	成人式の前撮りも行っているため、多少は良いのではないかとと思うので、やや良くなっていると判断する。
		設計事務所	為替が円高に振れ、物価高騰が落ち着きを見せていることを感じるため、やや良くなっていると判断する。
	企業	製造業(食料品)	例年実績どおり、温かい日が多いと予想しているので、やや良くなっていると判断する。
		運輸業	今後は、顧客製品の出荷台数が増える見込みなので、やや良くなっていると判断する。
	雇用	求人広告	新サービスなどが展開されつつあるため、やや良くなっていると判断する。
変わらな	家計	商店街代表者	今のところ、景気に影響するような要因がないため、変わらないと判断する。
		スーパー	3か月スパンでは物価変動などに対応が出来ないため、変わらないと判断する。
		コンビニエンスストア	変化する要素がないため、変わらないと判断する。
		コンビニエンスストア	今後3か月で悪化する要因はない。引続き現状が持続すると考えられるため、変わらないと判断する。
		酒・各種商品小売業	物価上昇で節約傾向を感じる。酒類に関しても出来るだけ安い店舗で購入しようとする意識を感じるため、変わらないと判断する。
		小売業	良くなっていく要素が見当たらないため、3か月先もさほど変わらないと思う。
		楽器販売	良い部門とそうでない部門に分かれており、急激な改善策もないため、状況は変わらないと思う。
		日本料理店	現状維持に近いような気がする。ただ紅葉などの時期にもなってくるので、多少変化する可能性がある。
		洋風居酒屋	正直なところわからないが、現状を変えるためにSNSなどを使って変えていきたいとは思っている。3か月先が良くなることを願っている。
		割烹料理店	良くなる要素がないため、変わらないと判断する。
		観光型ホテル	先々の動きも昨年と比べ弱い感じがするため、変わらないと判断する。
		旅行代理店	為替や天変地異の影響が読めないため、変わらないと判断する。
		バス運転手	今後の物価の状況や天候に左右され、不透明なところがあることから変わらないと判断する。
		道の駅	最低賃金は上がっているが、税金や社会保障費等も上がっている。物価上昇も止まらないし、実質賃金は減少気味のため消費が伸びないので、景気は変わらないと判断する。
		レジャー施設	通常営業となったが、売上げは以前に戻った程度であり、それ以上に上向く気配は感じられず、現状を維持している程度である。コメ不足のニュースや、9月からも市場では販売商品の値上げのニュースが続いており、景気回復の傾向は感じられない。現状を維持する程度であると思われるため、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	前年度と同様と見込まれるため、変わらないと判断する。インバウンドに期待する。
		写真店	前年度と同様と見込まれるため、変わらないと判断する。

変 わ ら な い	企業	製造業（窯業・土石製品）	決まりそうで決まらない仕事が多いため、変わらないと判断する。
		製造業（金属製品）	秋頃から上向くとの情報であったが、現時点で具体的に上向く情報がないため、変わらないと判断する。
		製造業（一般機械器具）	原油高が続いており、光熱費やガソリン代の負担が増加している。消費支出が抑制されているため、変わらないと判断する。
		製造業（輸送用機械器具）	3か月前と同様にエネルギー価格や物価の高騰が継続しており、大きな変化は感じられないため、変わらないと判断する。
		製造業（精密機械器具）	通年では忙しくなる時期だが、景気を変えるような兆しがないため変わらないと判断する。
		製造業（精密機械器具）	省力機器業界の設備投資が弱いと感じているので、しばらくはこの状況が続くと思う。
		建設業	景気を変えるような出来事がない。しいて言えば若干円高の状態であるが、景気を変える程ではないため、変わらないと判断する。
		金融業	市内の開発が着手されるのも数年後であり、大型商業施設からのブランド撤退（令和6年12月）の影響も大きいと思われ、消費行動の動線が市外へ変遷する恐れがある。一部空き店舗には新規出店があるものの、今後3か月では大きな効果は見込めないものと思われるため、変わらないと判断する。
		情報通信業（情報サービス業）	今後、良くなるよりはむしろ悪くなっていく感じがするが、3か月先ではあまり変わらないと思う。
や や 悪 く な っ て い る	雇用	学校就業関係者	大学生の採用については、企業の採用意欲も高い傾向にあり、数か月での影響はないと思われるため、変わらないと判断する。
		求人開拓員	求人数は少し多くなってきているようだが、求職者数に大きな変化がないため、変わらないと判断する。
	家計	商店街代表者	大型物件が発注されているにもかかわらず、様々な原因によって進捗が遅くなっているため、やや悪くなっていると判断する。メーカーからの通知によると、10月から資材の値上げが実施されるとのことである。
		スーパー	3か月後も、点単価や客単価は上昇しているものの、一人当たりの利用点数は昨年と比べてマイナスで推移するものと思われる。但し、新米入荷が進む秋口にかけて、米不足なことから米の価格が昨年と比べて凡そ800円ほど値上がりしていることを考えると、更に他の商品の買控えが起こるのではないかと推測しているため、やや悪くなっていると判断する。
		都市型ホテル	忘年会のシーズンであるが、例年と比べ予約の伸び率が悪く、現在よりも状況は少し悪くなると思う。レストラン等もクリスマス商戦となるが、平日に当たることもあり大きな伸びは見込めないと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		観光名所	客単価や利益率が減少傾向のため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー銭湯	価格競争が激化しつつある中で、最低賃金改定に伴う人件費高騰と設備更新が重なるため、経営はやや悪くなっていると判断する。
		ボウリング場	物価上昇の影響が続くため、やや悪くなっていると判断する。
		住宅販売会社	金融機関の短期金利が上がり、住宅ローンにも影響が出るため、市場的には悪くなると思うので、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	10月からの郵便料金値上げにともない封筒印刷の減少が考えられ、益々ペーパーレス化が進むのではないかと考えるので、やや悪くなっていると判断する。
		建設業	民間投資が減少しているように感じるため、やや悪くなっていると判断する。
		運輸業（道路貨物運送業）	新車購入を検討しても、価格高騰や納期までに1年以上かかることで代替が進まないため、点検・修理にかかる費用や稼働日数の減少により売上げが落ち込むことが予想される。また、労働時間の規制により高速道路の利用が増加しているが、運送料金への価格転嫁が一段落した中で、燃料の高止まりに加え、高速道路利用料金の負担で経営が逼迫していくと考えられるためやや悪くなっていると判断する。
		不動産業	10月から、更に様々な建築資材・商材関係の値上げがあり、物価高騰の動きが止まらない。これらをすべて価格転嫁した場合、個人消費は冷えると考えられるので、やや悪くなっていると判断する。

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	10月に最低賃金の上昇が控えているため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（薬品店）	寒くなってくると、風邪症状等の患者が増えてくると予想するので、やや良くなっていると判断する。
		運転代行	忘年会シーズンでもあり、人の動きも増えると思うので、やや良くなっていると判断する。
		旅行代理店	物価高にも慣れてきて、給料が上がった会社もあり、悪くはならないと思うので、やや良くなっていると判断する。
		レジャー施設	秋のイベント行事なども各地で行われ、少し涼しくなるので、夏頃よりは人の動きが活発になり消費が増加すると思われるため、やや良くなっていると判断する。しかし、新米など秋の味覚、食料品の物価高が止まらず、消費の伸びは大きくないだろう。
		住宅販売会社	住宅リフォーム案件だけで推移していた状況の中で、新築案件の商談が開始しているため、やや良くなっていると判断する。
	企業	農業関係者	賃金の上昇傾向が今後も続くことが予想され、個人の収入が増えることになるため、消費動向も上向いてくるものと思われる。さらに、金利の変動により、円高が進めば国内の景気は、物価高も落ち着いてきて持ち直すと思われるため、やや良くなっていると判断する。
		製造業（精密機械器具）	受注が戻ってきているため、やや良くなっていると判断する。
		製造業（金属製品）	海外輸出よりも国内需要が増加すると見込んでいるため、やや良くなっていると判断する。
		建設業	物価の高止まりによって、このタイミングで発注に踏み切る事業者がいると考えられるため、やや良くなっていると判断する。
		運輸業（道路貨物運送業）	同業者の倒産が増え、仕事が流れて来ているため、やや良くなっていると判断する。
		保険業	米作りの農家が景気が良くなるので、やや良くなっていると判断する。令和5年の米値は13,000円、6年は24,000円でかなり増収になっている。
		不動産業	繁忙期に差し掛かる時期のため、やや良くなっていると判断する。
	雇用	民間職業紹介業	最低賃金の値上げに伴い、働く人の給与アップが見込まれるため、やや良くなっていると判断する。
変わらない	家計	スーパー	値上げによる一品単価の上昇が一巡し、勢いは落ち着くと思われるため、変わらないと判断する。
		農産物直売所	出入り業者の担当者が口を揃えて、景気が悪いと言い出しているため、この先も変わらないと判断する。
		農産物直売所	数か月では景気の上昇につながらないため、変わらないと判断する。
		小売業（菓子類）	原材料の高騰も一段落して、利益率はやや改善傾向だが、売上額が伸びていない。この傾向が3か月先も続くと思うので、変わらないと判断する。
		小売業（食品）	魚の水揚げ量が変わらないと見込まれるため、変わらないと判断する。
		小売業	残暑の影響で農作物が不作で値上がりしていたり、経営環境面では、多くのコスト上昇、競合店の進出など、引き続き厳しい状況が続くと思う。しかし、小規模小売店であっても、固定客を大事に他店との差別化を上手に行えば、まだまだ必要とされる会社でいられるとも思うので、変わらないと判断する。
		割烹料理店	物価の高騰に続き、米の価格が上昇して、景気が良くなるのは大分先のような気がするため、変わらないと判断する。
		道の駅	日常の生活必需品や、医薬品などの価格が高騰する中、電気料金なども高くなり、家計に大きく影響するため、買控えが継続すると予想する。また年末年始を控え、余計な出費はしなくなるため、景気は変わらないと判断する。
		ゴルフ場	景気回復の見込みがないため、変わらないと判断する。

変 わ ら な い	家計	ゴルフ場	特に目立った動きはないように思うので、変わらないと判断する。物価の値上げに見合う程度に給与所得も増えることを期待している。
		クリーニング店	飲食店や建築会社からの受注は多かったものの、一般客の売上は例年並みであった。3か月後も大きく変わらないと判断する。
		住宅販売会社	変わる要因がない。
	企業	製造業（一般機械器具）	客先の老朽化設備の更新、補修案件が引き続き出るものと推測されるため、変わらないと判断する。
		製造業（食料品）	消費者の所得（給料）が上がりなければ、消費は増えないため、変わらないと判断する。
		製造業（ゴム製品）	3か月受注予想から、変わらないと判断する。
		製造業（鉄鋼業）	大きく状況が変わる要素は感じとれないため、変わらないと判断する。
		建設業	諸経費が上昇している一方、受注も昨年に比べて増加傾向にあるため、変わらないと判断する。
		サービス業	海外情勢は不安定な状態のまま（ウクライナ、中東、アメリカの大統領選挙等）であり、今後、急激に回復する可能性は少ないと想定されるので、変わらないと判断する。
や や 悪 く な っ て い る	雇用	公共職業安定所	景気の先行きに不透明感はあるが、事業所の人出不足感は続いていくと思われるため、変わらないと判断する。
		学校就業関係者	物価の高騰に給与が全く追いついておらず、今後良くなるとは思えないため、変わらないと判断する。
	家計	商店街代表者	依然として物価高騰が続き、地震の発生や大型台風の影響、更には10月から最低賃金引上げ等が続くので経営環境は厳しくなるものと思われるため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	これから商品の値上げが続くとの連絡がある一方で、価格転嫁が難しい面もあるので、利益は減少傾向にある。また、人件費、光熱費、輸送費等の状況を考えると、3か月先は、景気はやや悪くなっていると判断する。
		家電販売店	客の大半が高齢者であり、電気代の節約のため、消費電力の低い電化製品（エアコン、冷蔵庫など）を希望しているため、やや悪くなっていると判断する。
		和食レストラン	物価高や人手不足から、やや悪くなっていると判断する。
		洋食食堂	材料費等の上昇に加え、最低賃金も上昇するため、利益率が低下すると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		日本料理店	先行きに良い話など全くない。飲食店にとっては、米は欠かせない物で、それが異常に高くなるとご飯のおかわり無料が難しく、無料制度を考えなおす飲食店の話を聞いた。
		観光型ホテル	この秋にまた、商品や家計の固定費などの値上げがあるため、やや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	以前と比べて仕事が減少している。料金の値上げがある程度影響しているように思う。固定客も減少していて、電話がほとんどないため、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（その他）	全体的な値上げの中で、採算性は同程度を維持できるかもしれないが、売上は低下していくと考える。建築金物分野では、勝ち顧客と負け顧客がはっきりしてきており、負け顧客への売上は更に減少すると考える。
		金融業	飲食業、小売業、宿泊業とも同業者間の競争激化で、原材料高の影響や労働者不足などの要因が重なり、利益率の減少が続くと思われるので、やや悪くなっていると判断する。
		不動産業	やはり、銀行の借入金利の上昇が一番大きいような気がする。先日、金利を上げさせてほしいと相談があり、了承したが、来年早々には再度上がりそうな気がするため、やや悪くなっていると判断する。

やや悪	雇用	求人開拓員	10月から最低賃金が改定になり、事業者負担が増えることによる、パート求人減少の可能性がある。一方で、比較的若い求職者は、近隣の都市部や首都圏に出て行ってしまい増加することは考えにくいため、やや悪くなっていると判断する。
	家計	衣料品販売店	食料品、電気代、ガソリンなど生活必需品の物価が高く、衣料品は完全に後回し。洋服を購入する余裕がないように感じるため、今後は今よりも悪くなっていると判断する。
		小売業（書店）	先の見えない物価上昇のため、財布の紐が固くなっていると思う。物価高以上の景気の回復が見えなければ、悪化が続くと思われるため、悪くなっていると判断する。

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	小売業	生活必需品の食品や飲食カテゴリーの売上げの高伸長はもちろん、余暇や趣味への消費のカテゴリーである、サービスやアミューズメントの売上げも伸長している。以上の事から、多少ではあるが、可処分所得に余裕が出て来た可能性が考えられ、今後の消費行動が上向く事が期待できるため、やや良くなっていると判断する。
		洋食レストラン	コロナ禍も落ち着き、客数は増えて来たが、食材などの価格が上がり店頭でのメニュー価格も上がった。その結果、プラスもう1点（例えば、ドリンクや、デザート、アラカルトなど）の注文を控えているように感じるので、「良くなっている」ではなく「やや良くなっている」と判断する。
		都市型ホテル	値上げ後、一時的に客離れとなってしまうが、徐々に戻って来ている。また、新規の客も少しずつだが増えてきているため、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	暑さも落ち着いて、利用客が増えるのではないかと予想するため、やや良くなっていると判断する。
		サービスエリア	団体のバス客やインバウンド客が、一時期に比べて多い傾向にある。この先、物価の上昇が落ちついていくのであれば、客数の増加や購買数の増加に繋がりと、売上げ増が企業側の給与アップに繋がっていくものと思われ、やや良くなっていると判断する。
	企業	建設業	良くなっしてほしいという希望も加味して、やや良くなっていると判断する。
		運輸業（倉庫業）	8月から新規で200坪使用する荷主があり、年度内は使用するとのことなので、倉庫の空きスペースが殆どない状況である。貨物の動きも多い状況が続くと思われるため、やや良くなっていると判断する。
	雇用	民間職業紹介業	車関係が動き出す見込みのため、やや良くなっていると判断する。
		求人開拓員	ボーナスシーズンでもあるので少し景気が上向くと考え、やや良くなっていると判断する。
変わらない	家計	家電販売店	世界中で戦争終結の見通しも立たず、国内物価の上昇傾向も変わらないと思われるため、変わらないと判断する。
		スーパー	物価の上昇も止まらず、米も新米となったが、まだ安定供給できていないため、変わらないと判断する。
		スーパー	11月の結果を考えると、数値が良くなる要素はあまりないので、変わらないと判断する。昨今続いた原料、原価の値上げなどで、利益が取りづらくなっている。
		農産物直売所	物価高が3か月単位で変わるとは思えないため、変わらないと判断する。
		小売業（生花店）	市中心部地域以外は特に変化は見られない。
		日本料理店	個人的な予約は入るが、会合は減少すると思われるので、トータルでは変わらないと判断する。
		食堂	グループの予約が入らないため、変わらないと判断する。
		都市型ホテル	良くなる見込みの材料が見当たらないため、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	ガソリン代の補助金制度によって一時的に上向くと思われるが、季節的な影響は大きく、一時的な補助金では景気は変わらないと思われる。
		ボウリング場	明らかな景気回復の兆しが見られないと、消費者は動かないと思うので、変わらないと判断する。
		レジャー施設	売上げの大幅な変化が見込まれないため、変わらないと判断する。
		理・美容店	既存の顧客が減少している。このまま集客しなければ経営が厳しいため、景況は低迷したまま変わらないと判断する。
		住宅販売会社	金利上昇の影響は、この先3か月もあまり影響しないと考えたため、変わらないと判断する。
	企業	農業関係者	農家の手取りは大幅に増えたと思うが、担い手として農業を営んでいる農家は借地も多く、米価格上昇に伴う賃借料の支払の面での苦労もあるため、変わらないと判断する。今回の米価格高騰が、ある程度の価格帯で消費者に理解され、今後維持されることを願っている。

変 わ ら な い	企業	農業関係者	今後の景気回復の要素が見当たらないため、変わらないと判断する。
		製造業（飲料）	スーパーなどでも野菜の価格が上がったり、燃料（ガソリン）の価格も高いままなので、変わらないと判断する。
		製造業（印刷・同関連業）	良い材料が見当たらない。地震や台風・大雨など自然災害がもたらす、経済的損失や心理的なマイナス作用も少なからずあると思うので、変わらないと判断する。
		製造業（非鉄金属）	円高傾向となっているようだが、物価の高騰を抑えることは困難と思われるため、変わらないと判断する。
		製造業（その他）	少しずつ戻ってくると思うが、3か月先はまだ不安なので、変わらないと判断する。
		建設業	資材の流通は良くなったが労働力不足が問題になる状況は、これから先も続くと思うので変わらないと判断する。
		金融業	中小企業や個人事業主の価格転嫁には時間がかかり、景気回復にはもう少し時間がかかると予想される。金利上昇も企業の資金繰りに影響が出てくると思われるため、変わらないと判断する。
		不動産業	不動産の需給バランスは特段の変動がないため、変わらないと判断する。
	雇用	学校就業関係者	引き続き、企業の採用意欲はあると考えられるため、変わらないと判断する。
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	人口減も含め、今後改善する要因が見当たらないため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	物価上昇による購買力の低下に賃金上昇が追いつかず、個人消費が落ち込むと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	景気が良くなる要素より、悪くなる要素の方が大きいと判断する。
		衣料品販売店	原材料の高騰により、商品の価格が上がっている。また、客単価、客数は減少傾向にあるため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（米穀）	今後更に仕入れが厳しくなる気がするため、やや悪くなっていると判断する。
		都市型ホテル	宴会需要が多くなるシーズンだが、原価率からはやや悪くなっていると判断する。宿泊団体が多く入ってくれば利益も出ると思われるので、期待したい。
		タクシー会社	人手不足、高齢化、労働時間の問題などに加えライドシェア問題などもあり、業種によっては逆風が吹いている。小規模会社には厳しい状況であるため、やや悪くなっていると判断する。
		テーマパーク職員	屋外の施設であるため、気温も下がって日没も早くなり、遅い時間までの運営が困難になるため、やや悪くなっていると判断する。
		設計事務所	資材の値上がりや、人件費、労働者不足などで、仕事があってもこなせなくなり、資金不足になると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	コンクリート二次製品の出荷数量が例年と比して伸び悩んでいるため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	借入の金利が上がると金融機関からアナウンスを受けている。返済・借入のバランスを取りながら進めているが、今まで金利のない世界でやっていたため、自社だけでなく取引先も今後どのくらい影響が出てくるのか判らないため、やや悪くなっていると判断する。
	雇用	求人広告	過去最高の最低時給増加により、人件費の高騰で悲観する声が多く聞かれるため、やや悪くなっていると判断する。
悪	家計	理・美容店	良くなる題材が一つもないため、悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（食料品）	従業員の最低賃金値上げのため、収益は悪くなると判断する。
		不動産業	増税・物価高の影響がじわじわと出てきているように思われるため、悪くなっていると判断する。

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新規事業により、集客が増え始めているため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（酒類）	例年通りであれば、年末期になると黙っていても人もお金も動くと思われるため、やや良くなっていると判断する。
		小売業	失業や転職などの話を聞かないので、やや良くなっていると判断する。
		レストラン	少しずつ、新しい客やリピートの客も増えつつあると思うので、やや良くなっていると判断する。
		日本料理店	10～11月は昨年同様になると思うが、12～3月は良くなるように思える。お酒を飲む機会が少なくなったため、忘年会、新年会、送迎会では客単価が上がると思うので、やや良くなっていると判断する。
		商店街代表者	地域のイベント等への参加者状況が、コロナ禍前までとは行かないが増加しているように感じる。また、過疎地域であり人口流出も懸念される地域ではあるが、大型店舗が進出するなど景気の良い話も聞くようになったため、やや良くなっていると判断する。
		設計事務所	金融機関経由で入ってくる情報から判断して、3か月後はやや良くなっていると思う。
	企業	農業関係者	新聞報道等にもあるように、令和6年産米の価格が高騰していることから、米麦農家の所得は向上するものと思われるため、やや良くなっていると判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	コスト高を転嫁できなかった頃に比べて、価格を上げて受け入れられる事が増えていると思うので、やや良くなっていると判断する。
		製造業（金属製品）	得意先の電力機器メーカーが年度内発注分を先行発注しており、今月から12月頃にかけて繁忙期となることを見込んでいるため、やや良くなっていると判断する。
		金融業	県西地域において大規模な工業団地造成が多数見られる。それに伴い、造成工事や付随する工事の需要が活発になっていくと思われるため、やや良くなっていると判断する。
		不動産業	賃貸解約時に示される次回募集賃料が上昇傾向にあるため、やや良くなっていると判断する。
	雇用	求人広告	最低賃金が改定されるので、消費者・求職者の動きに好転反応が見られると予想されるため、やや良くなっていると判断する。
変わらない	家計	衣料品販売店	季節要因の来客ばかりで、一般衣料を購入する客が来ない傾向は今後も続くと思われるので、変わらないと判断する。
		家電販売店	相変わらず、数々の商品の価格値上げが続き、財布の紐は中々緩まないため、変わらないと判断する。
		農産物直売所	特に大きな変化は見られないと思うので、変わらないと判断する。
		和食レストラン	平日に波がある。平日夜を中心に、生活スタイルは変わらないと思うので、3か月後も変わらないと判断する。
		旅行代理店	円高傾向にはなったが、半年経過しないと海外旅行代金には反映されないため、年内は厳しいと思うので、変わらないと判断する。
		観光型ホテル	物価高の影響は少なからずあると思うが、今後3か月ではあまり変化がないような気がするため、変わらないと判断する。
		タクシー運転手	3か月の短期間では大幅に変わらないと思うため、変わらないと判断する。
		道の駅	物価上昇による家計への影響を考えると、好影響はないと思うので、変わらないと判断する。
		道の駅	現在の状態が変わる気配が感じられないため、変わらないと判断する。
		レジャー施設	秋の行楽シーズンを迎え、人出は多くあると思われるが、様々な物価上昇により販売品が値上がりしているため、売上げはそれほど変わらないのではないかなと思う。

変 わ ら な い	家計	レジャー施設	引き続き、物価上昇の影響があるのではないかと懸念している。少しは良くなっていくことを期待したいが、変わらないと判断する。
		クリーニング店	天候に左右される。季節からアウター等厚物の着用期間なので、景気と言う観点では、変わらないと判断する。
	企業	製造業（食料品）	景気が良くなる要因がないため、変わらないと判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	工場稼働率及び受注状況から判断すると、回復基調はなく減少したまま推移しそうであるため、変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	向こう3か月で良くなるような好材料や情報はなく、変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	中・長期的な予測は難しいが、この状況は継続と思われるので、変わらないと判断する。
		製造業（印刷・同関連業）	良くなる要素がないため、変わらないと判断する。
		製造業（その他）	受注量が減り、円安による原価高が続く傾向が予想されるため、変わらないと判断する。
		製造業（化学工業）	一部の生成AI向け等の生産は好調だが、自動車向や民生向などではフォーキャスト（過去のデータ分析から将来の成果を予測する手法）などでも横ばいとなっており、回復にはもう少し時間がかかると思われるため、変わらないと判断する。
		建設業	特に変化を感じない。
		サービス業（コンサルタント業）	大きな変化はないように思える。
	雇用	人材派遣業	現段階では年末繁忙は昨年並みという情報が多いため、変わらないと判断する。
		学校就業関係者	諸々経費の高騰等で上向き状況の継続は期待できないと思うので、変わらないと判断する。
やや悪くなっている	家計	スーパー	夏頃はお盆による帰省や南海トラフ地震注意報及び台風による買いだめ需要など個人消費は活発になったが、今後そういった先を見越した買物需要が見込めるとは思えないため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	原材料の高騰や人件費（最低賃金）の上昇が控えているが、売上げの大きな上昇は期待できないので、店の収益性は低下すると思われ、やや悪くなっていると判断する。
		自動車販売店	まだまだ、物価高は続くと思われるので、やや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	年末で、人の動きは多くなると思うが、物価高騰により、タクシー利用率は下がると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	前シーズンと比較し、予約数が減少傾向にあるため、やや悪くなっていると判断する。
	企業	農業関係者	物価高により、収入より費用が嵩むことが予想されるため、やや悪くなっていると判断する。
	雇用	求人開拓員	僅かだが、有効求人倍率の悪化が継続しているため、やや悪くなっていると判断する。高年齢者の求職者は増加しているが再就職できない傾向が感じ取れる。
悪	家計	製茶販売	景気が良くなる兆しがないため、悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（金属製品）	材料等の仕入れ先からの情報だと、どの業種においても受注見込みがないと聞いているので、悪くなっていると判断する。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	コメント
家計	コンビニエンスストア	米の高騰により節約思考になっており、普段の買物を抑える傾向がある。
	小売業（弁当・惣菜店）	消費の復活は実感できるが、依然として諸物価の上昇は徐々に収益を圧迫している。また人件費の上昇は必要なこととはいえ、あまりにも急激で零細企業には重荷である。今後、十分な価格への転嫁が必要になると思われる。また急激に進んだこととして、キャッシュレスの浸透が挙げられる。これからさらにキャッシュレス化が進んでいくと、決済手数料の負担が零細店では重い課題となってくると予想される。
	小売業（酒類）	ウィスキーブームである。価値ある商品の入荷は厳しいが、売上げに貢献してくれている。
	小売業（水産物）	物価高騰により、商品の品定めをする時間が長いように感じる。高額品と安価品のどちらも売れている。
	小売業（時計）	高額所得者だけでなく中間所得者層も財布の紐が緩んできたように思われる。
	スナック	何もかもが値上げで、スーパーの売出しやホームセンターのセールにばかり人が集まっている。逆に飲食店の客は減ってる。
	日本料理店	今年は市制70周年、合併20周年の節目にあたり、いろいろなイベントが行われる。蕎麦屋の会でも、いろいろな事業を計画している。
	観光型ホテル	地域の状況では、宴会や法要など、団体で利用できる施設が減少しているため、当館の利用者が増加している状況である。また、今まで新型コロナウイルス等により開催が出来なかった同窓会の開催が、今年度になりかなり増えている。同社内で運営している観光関連の施設では、海外の客が多く来所しているようだ。
	観光型ホテル	料理内容にこだわりをもったレストランや飲食店の閉店が続いている。材料費の高騰と最低賃金のベースアップが続いても、安易に販売価格に転嫁しづらいことが一因ではないかと思う。
	ドライブイン	物価上昇が続くので、精査して買物をしている。
	レジャー施設	個人経営の飲食店へ外食に行った際、客の増加を顕著に感じた。チェーン店では客数の増減が比較的現れやすいため以前から実感していたが、個人経営の店舗でもコロナ禍前のような賑わいが戻っているようだ。だが、仕入費が上昇しているため確実に価格に反映されており、賃金が増えないとこれからは気軽に外食には行けなくなるように思う。
	ゴルフ場	職場内容の充実化を考えSTAFF募集をするが応募者がなく、先行きが不安である。高齢者がウエイトを占める業務遂行がどこまで続くのか、一線を退いた方々の雇用の場となるのが気になるところである。一方、各社プレー料金も底上げしている中、平日の売上げを支えているのは60才以上の方々である。非課税の特典やボランティア参加によるプレー券などを上手に使って施設を利用しており、元気な行動に目を見張っている。また、最近目立つのはジュニアの利用者である。ジュニア料金とはいえ、生活を切りつめて、高速代をかけて、親のプレー代を抑えても、子どもにプレーさせたいという意識の親が増加しているようだ。
	ゴルフ場	節約傾向が益々強まっていると思われる。出来る限り金を使わず、無料のサービスを求めて動いているように感じる。
企業	写真店	人によってだが、デジタルプリントの注文枚数にバラつきがある。50円の客もいれば、1,000枚以上注文して5万円以上払う客もいる。この御時世に、何を基準に高い安いを決めているのか不思議に思う。
	美容室	個人的景気は悪くなる一方だ。
	林業関係者	教育費、医療費、生活費や飲食費が高額で、娯楽費にも大きく影響している。少子高齢化、人材不足をどのよう解消していくかが大きな問題である。
	製造業（食料品）	知り合いの農家が「農協の今年のコメの買取り価格が、昨年より5千円以上高くなった」と言っていた。農家が潤うと金を使ってくれるので、農業大国茨城の景気も少しは良くなると期待している。

企業	製造業（電気機械器具）	従来は価格が安定していた食料品の価格が高騰している。
	製造業（電気機械器具）	中国経済の鈍化が著しい。特に不動産業に影響が表れている。
	製造業（精密機械器具）	旅行に行く人や買物をする人が少しは増えてきたように思える。
	建設業	物価上昇と賃金上昇の比率がかみ合っていない。
雇用	公共職業安定所	天候不順などによる生鮮食品の値上げ、輸入食品の値上げと相次ぎ、買控え傾向がある。とくに10月からの食品の値上げは家計に直撃してくる。益々個人商店は維持が難しく、スーパーなどに頼らざるを得ないが、そこでも値上げは着々と行われている。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	一時よりは落ち着いたが、相変わらず物価の上昇が止まらない。最近だと、物流経費増が影響して、中々落ち着く様子がない。
	小売業	物価上昇、不安定な気候要因、自然災害などによる消費マインドへの影響が見られる。
	スーパー	ドラッグストアでも生鮮商品の取り扱いを行っている店舗がある。
	酒・各種商品小売業	この先もこのような景気だと、細々とやっている飲食店は廃業するところも出てきそう。
	自動車販売店	運送業の方から人員不足の話を聞く。結果的に仕事の依頼はあるが業績が上がらないようだ。
	農産物直売所	ペット連れの客が増加している。
	洋風居酒屋	常連のいる飲食店は、売上げが戻りつつあると思う。
	観光型ホテル	夏の渋滞が昨年と比べ少なかったと思う。
	バス運転手	都市部ではマンション等の建築が見られる一方、高度成長期に造成された団地では、多くの空き家が見られる。
	タクシー運転手	このところの繁華街は週末（金・土）のみ、客が集中的にやって来るので、少し分散してくれると有難い。
	道の駅	円安が落ち着き輸入品が安くなれば、物価も少しは落ち着くかもしれない。ガソリンなどの燃料費が安くならないと、出かける回数や距離にも影響する。円高の恩恵が早く来ることを願う。
	スーパー銭湯	副業を検討する50歳以上の男性が急激に増え、扶養範囲内での仕事を探す方が減った。
	写真店	やはり物価高の影響が大きいため、景気も良くならない。
	設計事務所	「米不足」が全国的にニュースとなって、米の価格が昨年より30%以上高くなった。
企業	製造業(食料品)	働き手の確保が難しいことによる変化を、至る所で感じる。
	製造業（印刷・同関連業）	メディアで報道されているような好景気が全然感じられず、賃金アップなどほんの一握りの企業であって我々、零細企業にとっては不安しかない。
	製造業（窯業・土石製品）	何でも値上げしている。
	製造業(一般機械器具)	ドイツの大手自動車メーカーで、ドイツ国内の工場閉鎖を検討しているという話があり、部品を納入している日本の中小企業も間接的に影響を受けることが懸念される。
	製造業（輸送用機械器具）	やはり、光熱費や物価の高騰による家計の負担は重く、政府の対策（定額減税）は一時的に良い影響があったものの、給与水準の上昇が追いつかず厳しい状況が続いている。
	製造業（精密機械器具）	金融機関が金を貸さない事業所があるようだ。
	建設業	自民党及び立憲民主党の代表選の結果により、国民の気持ちが上向くことを期待したい。
	建設業	物価高騰により、消費マインドが下がっているように感じる。
	金融業	老朽化したビルの跡地にはマンション建設が加速していることに伴い、飲食店の新規出店が増加傾向にある。
	不動産業	物価高騰、建築業界での働き方改革（土日休み問題）、労務費高騰、建築現場の職人不足などの課題が山積している。

雇用	公共職業安定所	概ねコロナ禍以前に戻りつつあると感じるが、運送業、建設業、サービス業等では人手不足が顕著であり、特に新卒者の採用確保に苦慮しているといった声を多く聞く。さらに、物価高、賃金増による人件費増、原材料費高騰といったファクターに、重い舵取りを迫られる企業も少なくない。
----	---------	---

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	コメント
家計	衣料品販売店	飲食店、美容室の倒産が増えた記事を目にする。どの業種も小さい会社や個人事業主は厳しい状況のようだ。一方で企業の内部留保が12年連続で過去最高とのことだが、世の中に金が回っているようには思えない。大手企業だけが潤う歪な構造になっていると感じる。
	小売業（食品）	景気の良い所と悪い所が極端だが、悪い所の方が多いと感じる。
	小売業（書店）	不景気と感じるに尽きる。
	洋食食堂	毎年、最低賃金が上がり続けると、零細な店舗では人を雇えなくなってしまうのではないかと考えてしまう。画一的な賃上げではなく、もう少し実情に合った政策が必要ではないか。
	運転代行	物価の値上がり、日常生活に大きく影響を与えている。いつまでこの状態が続くのか、不安な毎日だ。
	旅行代理店	円安の影響か、海外旅行へ行く観光客がまだまだ少ない。
	道の駅	週末の夜の飲食店は、賑わってきている。個人グループや会社など、団体の宴会を目にすることが多くなった。新型コロナウイルスが5類に移行したこともニュース等で取り上げられることはほぼなくなり、宴会の席が増え、居酒屋などの夜の飲食店に活気が出てきていると感じた。
	レジャー施設	鹿行地区では、海水浴シーズンに水難事故が相次いだ。水難事故＝危険な海と判断されてしまい観光客の減少に繋がるので、再発防止対策を徹底してもらいたい。
	住宅販売会社	資材の高騰動向が10月ぐらいから始まる。
企業	農業関係者	米の価格が昨年に比較して予想以上に上昇したので、物価高の影響を改めて感じた。
	製造業（その他）	物価高のせいか、旅行などに出かけていない印象がある。引き籠りとまではいかないが、自宅で大人しくしてあまり浪費する話は聞かなくていい。
	製造業（食料品）	祭事などでは人が集まるようだ。若い家族連れなどはピクニック気分で時間を過ごしている。
	製造業（金属製品）	アメリカや日本国内の政権の動きが不安である。
	建設業	食品などの定価は以前と変わらないが、内容量が減っている。結局、価格は維持しつつ実質値上げである。
	建設業	株価に一喜一憂している状況なので、足元をよく固める事が重要だと考える。
	運輸業（道路貨物運送業）	2024問題で時間管理が非常に難しくなってしまった。
	金融業	住宅購入に関して、材料費の高騰により戸建て住宅の建築費、建売住宅の価格が値上がりしているため、購入計画を延期若しくは断念する傾向が感じられる。
雇用	保険業	新車の納車が遅れている。
	民間職業紹介業	住宅メーカーや、住宅に関連する企業の売上げが伸びてきている。
	学校就業関係者	外国人観光客は大変安く感じているといわれる食事やお土産も驚くほど高く感じる。チェーン店の牛丼は外国人向けメニューが2,000円等、相対的な賃金の格差が大きくなっていると思われる。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	コメント
家計	スーパー	以前に比べれば、求人の応募数は減少している。周りの働き口が増えたためかは不明だが、前回ほどの応募数はきていない。他企業、他業種の景気が上向いてきて働き手がそちらに流れているのだろうか、働く時間数が確保出来ているのでこちらには応募が少ないのだろうか。もしそうであるなら景気は良くなってきているのかもしれないと思うこともある。
	農産物直売所	令和の米騒動と騒がれているが、直売所では安定して、新米が入荷している。ただ、価格は例年の1.3倍位になっている。客から、高くなったとよく言われる。
	小売業	つくばエクスプレス沿線都市の人口増加率は、全国でもトップクラスである。この街独自の特徴だと思うが、特に土日に、ニューファミリー層の来店が増加している。買物、飲食、アミューズメントをローテーションして、一日中楽しむ客が多い。また、同時に3世代で来店される客も増加している。
	小売業（生花店）	ベトナム人派遣会社の事務所を見かけた。今後、外国人労働者の流入・定着による人口増に伴って、外国人とどのように上手に付き合っていけるかが地域の問題になると思われる。
	小売業（米穀）	米売り場に米が並んでいないというのは非常事態だ。
	洋食レストラン	景気の影響かどうかはわからないが、最近SNSやインスタグラムなどの取材という名目の営業電話が多い。話を聞いてみると、やはり営業が目的で取材がメインではなかったりする。
	日本料理店	代行車を利用すると、1時間以上待つことが多くなってきた。
	都市型ホテル	海外セールスのため旅行会社を訪問するが、航空券が高く団体でも販売が難しいとのこと。アウトバウンドが増えないとインバウンドも入ってこないし、飛行機も増便にならない。円安の影響もありインバウンド消費もあるが、中流層の取り込みをすることで更なるインバウンド需要に期待したい。
	都市型ホテル	キャッシュレス決済が多くなってきた。
	タクシー会社	新米30Kgが今年は12,500円と言われ、米価の高騰を実感した。
	サービスエリア	開業時期は未定だが、守谷SA（上下線）のスマートインター化が予定されているらしい。
	ゴルフ場	熱中症警戒アラートが発表される暑さ指数33を超える日が多数出るため、人の動きのバランスが崩れている。家にいても熱中症となる現在、景気を安定させるのは難しいと思われる。
	テーマパーク職員	インバウンドの影響か、外国の方が増えた。またSNSの利用拡大に伴ってか、若い女性のグループが増加傾向にある。
	設計事務所	コンクリート、生コンは、建材会社が同時値上げしているように感じる。また企業のM&A（合併・買収）に関する電話が多い。
	住宅販売会社	特に大きな動きはみられないと思う。
企業	農業関係者	身近に感じることで、外食時の食事単価が以前に比べ大きく値上がりしていることが気になる。注文を躊躇する方、値上げは承知の上で注文する方、双方が確認され（個人的には躊躇してしまう）、収入面での個人差はまだまだ生じていると感じる。地方では物価高騰が様々な価格に転嫁されている一方で、給与の上昇が追いついていないと思う。
	農業関係者	いずれの分野においても言えることではあるが、農業資材も高騰している。出来秋、買上げ米価が近年になく上がっているため、今後の動向に期待したい。
	製造業（飲料）	政治関係のニュースを目にするが、自分の周辺環境が改善するような施策を期待する。
	製造業（窯業・土石製品）	米が高くなった。円高でガソリンが安くなることを期待する。

企業	製造業（窯業・土石製品）	値上げが当たり前になっているが、日用品などの価格を見て、高くて驚くことが未だにある。また、コメなどの特定の商品が販売されていないこともあり、米騒動などと煽っているのも散見される。情報に踊らされて落ち着きがなくなっているような印象がある。
	運輸業（倉庫業）	理由はわからないが、今年度に入って4月から6月は貨物の動きが鈍かったが、7月から入出庫数量が急増している。半年での総入出庫量は、昨年とあまり変わらないので単にピークがずれているだけかもしれない。
	金融業	預金から投資性商品へ切替を考える顧客が増え、iDeCoや保険の問合せも増加しているが、まだ実際に踏み切るには至っていないと感じる。
	不動産業	物価高や人件費の高騰等を受け、提供を受ける各種サービスの値上げが続いている。
雇用	求人開拓員	事業所の従業員や経営者からヒアリングすると、横ばいとの声が多い。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	総裁選で世間は喧しいが、それによって景気は左右されないと考える。
	コンビニエンスストア	金を使う部分と、節約する部分のメリハリが大きくなってきていると感じる。店に並んでいる商品の中で、日常使いの商品は低価格帯の商品が好まれ、節約志向が見受けられるが、嗜好性の高い商品や、趣味に通ずる商品は、価格帯に関わらずに売れている傾向を感じる。
	家電販売店	最近コンビニ等が一部値下げを実施していて、購入意欲を活性化する動きが見られる。
	自動車販売店	所得の格差が大きくなってきた感じがする。
	小売業（酒類）	値上げの波がいつ収まるのか、毎月のように何かしらの商品が値上げしていて、そのたびごとに在庫を抱えなくてはならず、厳しい状況が続いている。小売店は値上げを真正面から受け止めなくてはならず、そろそろ限界とさえ感じる状況なのに、大手スーパーやドラッグストアなどの価格は、全くそれを感じないのも気になる場所である。この状況が続けば、廃業や倒産に追い込まれる小売店が更に増えるのではないかとと思う。
	小売業	親子で楽しめる遊びとして、ラジコンが売れている。
	製茶販売	コロナ禍以降、人との接触が少なくなったので、身だしなみ等にかかる出費が節約されている。近所との茶飲み話、ランチ会等も減り、他人との接触が少ないから、普段着を新調することもない。マスクをしているから化粧する必要もない。クリーニングや理髪店、外食、出前も減ったという。皆、今必要な物しか買わなくなった。生活のためだからしょうがないが、携わる商店はこのままだと死活問題だ。
	レストラン	なんでも高くなってきていて、経営者は厳しいと思う。更に最低賃金も高くなると、個人経営者は辛い。
	日本料理店	売上げが戻っても、食材、人件費、光熱費等が上昇して利益が残らない。近隣の店舗の閉店が目立つようになってきた。
	都市型ホテル	とにかく米の価格の高騰が著しい。
	旅行代理店	旅行業界は、円高の方が恩恵が大きいと痛感している。
	タクシー運転手	9月14日に利根川花火大会があり、他県からの来場者が多く、タクシー利用者が多かったため、通常の約2倍の売上げがあった。イベントの効果は大きい。
	道の駅	米の価格が上がりすぎている。
	レジャー施設	求人をして中々応募がない。賃金を上げればくるのかもしれないが、中々賃金アップは難しい。
	理・美容店	これからは、気候条件も売上げに関わってくるのではないだろうか。
企業	クリーニング店	物価高、賃金アップ、人手不足等や高齢化など、中小零細企業にとっては厳しい要因ばかりだ。
	設計事務所	人出不足が心配だ。
	農業関係者	新米の価格が高騰しており、今後の価格の動向が気になる。
	製造業（窯業・土石製品）	10月の最低賃金引上げに向け、再度値上げのお願いをしなければならなかったため、受注状況は落ち込みそうである。
	製造業（窯業・土石製品）	自分の日常の食費、その他の消費額が増えた。
	製造業（金属製品）	材料等の仕入れ先からの情報では、茨城県内は特に景気が悪いと聞いた。
	製造業（化学工業）	物価上昇の影響や先行きの不安に加えて、投資などでも一時期よりも株価下落などで運用成績があがらず、買控えや節約志向が強まっているように感じる。

企業	金融業	圏央道の影響により県西の各地域で工業団地造成が開始され、それに伴い倉庫の需要が高まっている。首都圏に近い地域では土地単価が高騰している。土地単価が安価である事や、未線引区域である事から需要が増加しているようだ。
	不動産業	土地の売買金額が上昇する所と、下降する所で二極化している。
	サービス業（コンサルタント業）	コロナ禍前ほどの活況感はないが、若干回復したように思える。
雇用	求人広告	値上がりになる商品が多いため、これまでよりも、財布の紐が固くなっているような印象がある。
	人材派遣業	採用に苦戦している企業が給与改善に着手するケースが増加していると感じる。輸送費や原材料費が高騰している中で、苦渋の判断をしている企業が多いと思う。
	学校就業関係者	人手不足の影響か、技術職への求人で賃金の改善が多くみられる。また、受講費用が安いことも要因の1つかもしいないが、ガス溶接技能講習や第二種電気工事士（実技）の受講希望が多く、応募が定員の2倍以上になっている。
	求人開拓員	家計簿を集計したところ、5%程度の支出増になっていることが分かった。物価上昇に賃金が追いついていない事が懸念される。